

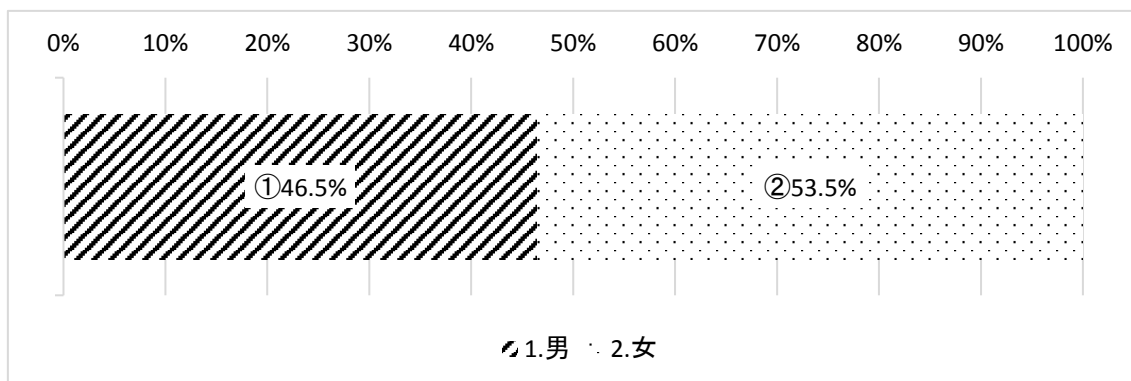
II 調査の結果

【A調査】

15歳から39歳までの若者（学生を除く）及び
その保護者等を対象とした調査
ア）若者本人を対象とした調査

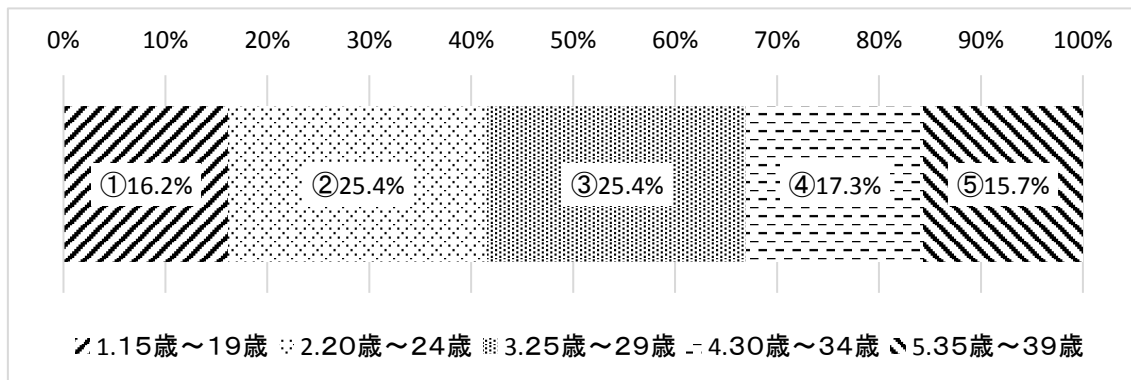
問1 あなたの性別をお答えください。

(集計総人数=185人)



問2 あなたの年齢をお答えください。

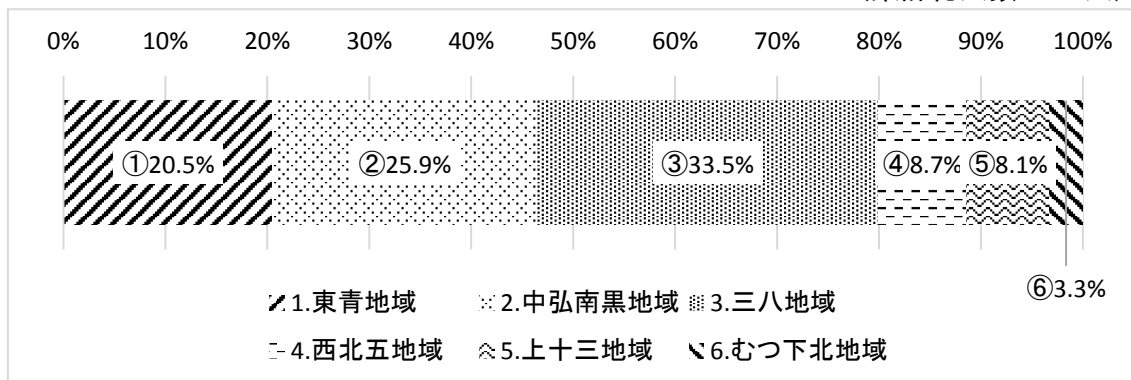
(集計総人数=185人)



年齢を聞いたところ、「20歳～24歳」「25歳～29歳」が25.4%と最も多く、次いで「30歳～34歳」が17.3%となっている。

問3 あなたが住んでいる市町村名を（ ）内に記述してください。

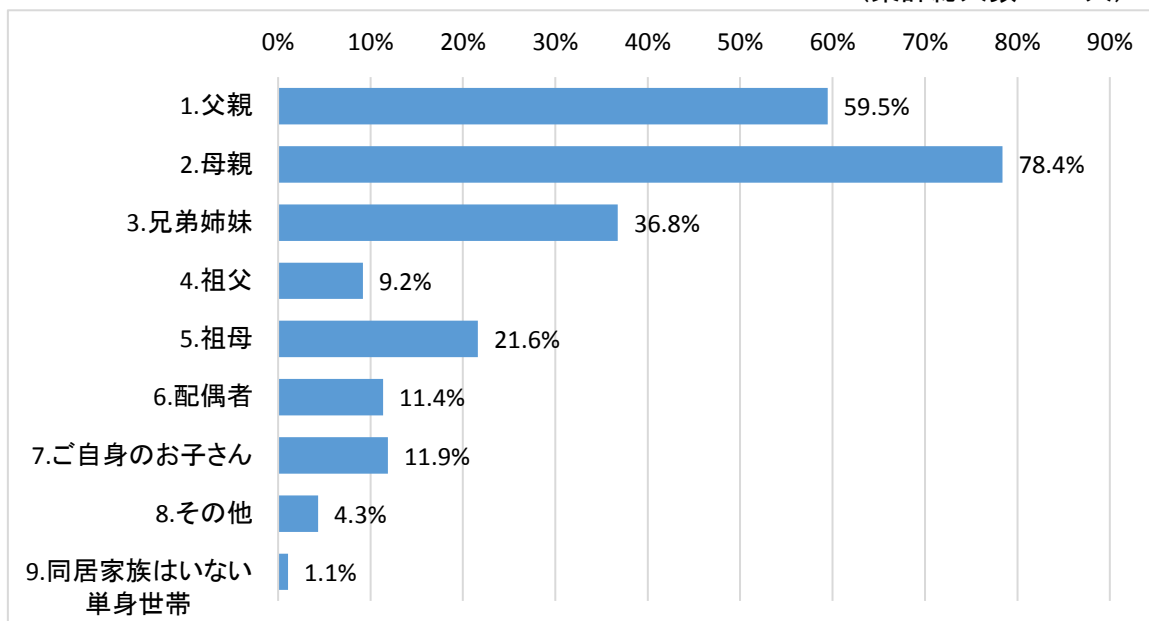
(集計総人数=185人)



住んでいる地域を聞いたところ、「三八地域」が33.5%と三分の一を占めた。次いで「中弘南黒地域」「東青地域」となっている。

問4 現在あなたと同居しているご家族に○をつけてください。(○はいくつでも)

(集計総人数=185人)



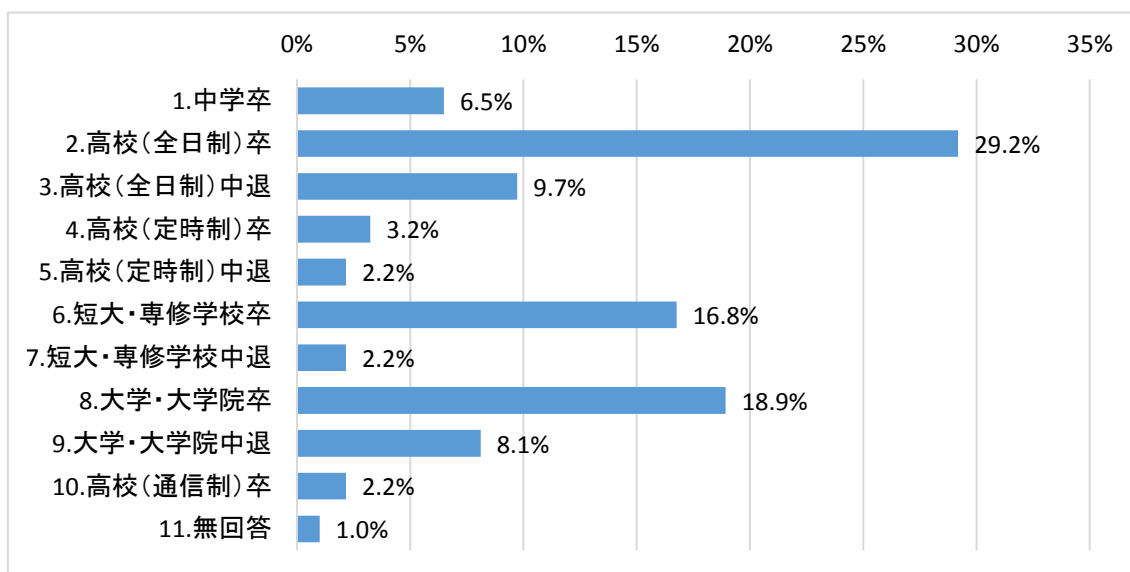
「8. その他」の内容

- ・ 弟の妻・甥・姪
- ・ 隣人
- ・ 義父母
- ・ 甥
- ・ 母の姉妹二人
- ・ 叔母

現在同居している家族を聞いたところ、「母親」が78.4%と最も多く、次いで「父親」が59.5%、「兄弟姉妹」が36.8%、「祖母」が21.6%となっている。

問5 あなたが最後に卒業（中退）した学校はどこですか。

(集計総人数=185人)

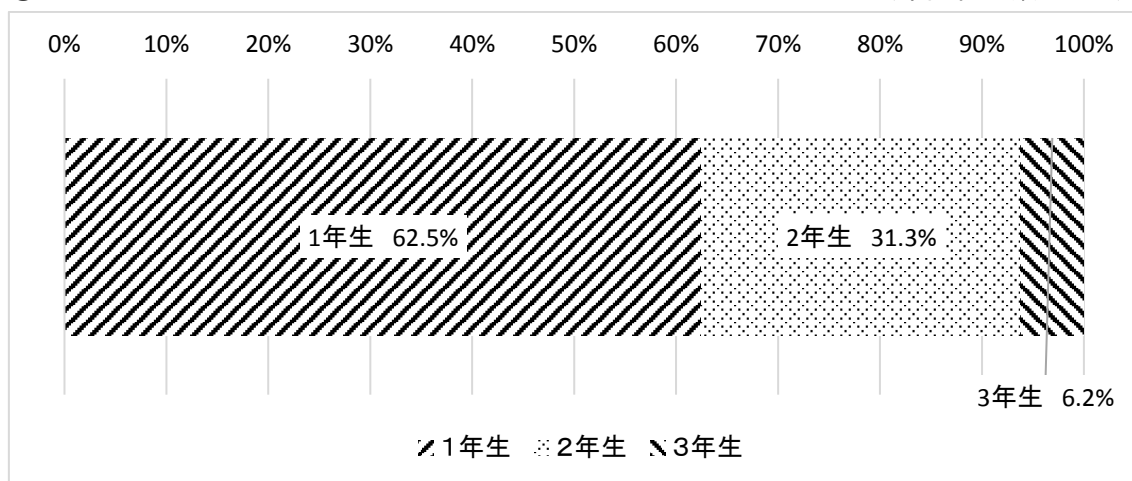


最後に卒業（中退）した学校を聞いたところ、「高校（全日制）卒業」が 29.2%、「大学・大学院卒」が 18.9%、「短大・専修学校卒」が 16.8%となっている。なお、「高校（全日制）中退」が続いて多かったのは、高校中退者へのアンケートも含めて行った集計となっているためと思われる。

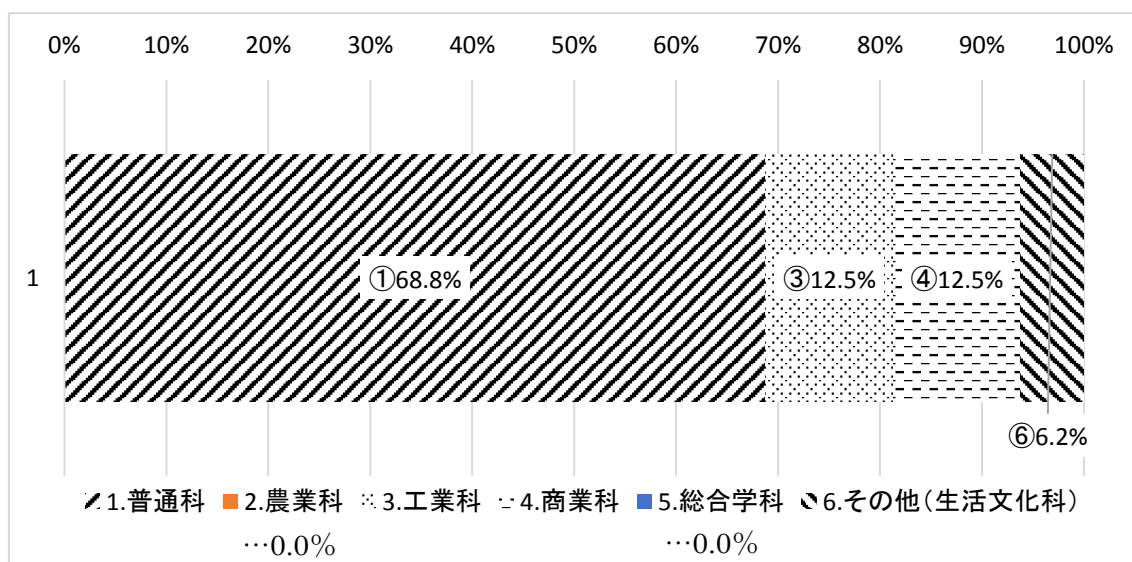
問5-1 問5で「3」または「5」と回答した方にお聞きします。

①中退したときの学年及び ②中退した学科を教えてください。

① (集計総人数=16人)

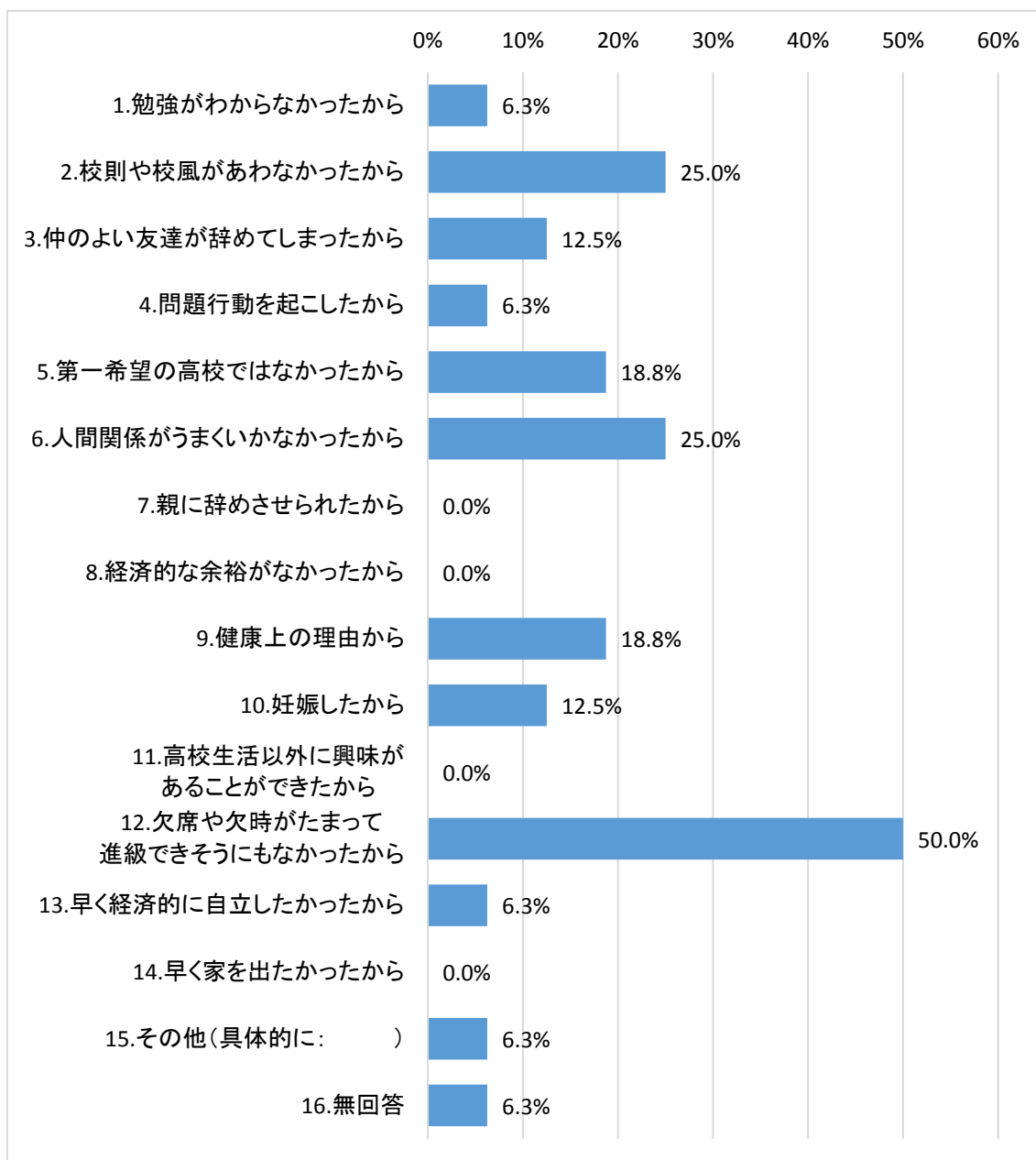


② (集計総人数=16人)



問5で「高校（全日制）中退」「高校（定時制）中退」を選んだ方に、中退したときの学年及び学科について聞いたところ、「1年生」が 62.5%と最も多く、次いで「2年生」が 31.3%となった。学科は「普通科」が 68.8%と半数以上を占めており、次いで「工業科」「商業科」が 12.5%となっている。

問5-2 問5で「3」または「5」と回答した方にお聞きします。あなたが中退した理由はなぜですか（〇はいくつでも）（集計総人数=16人）



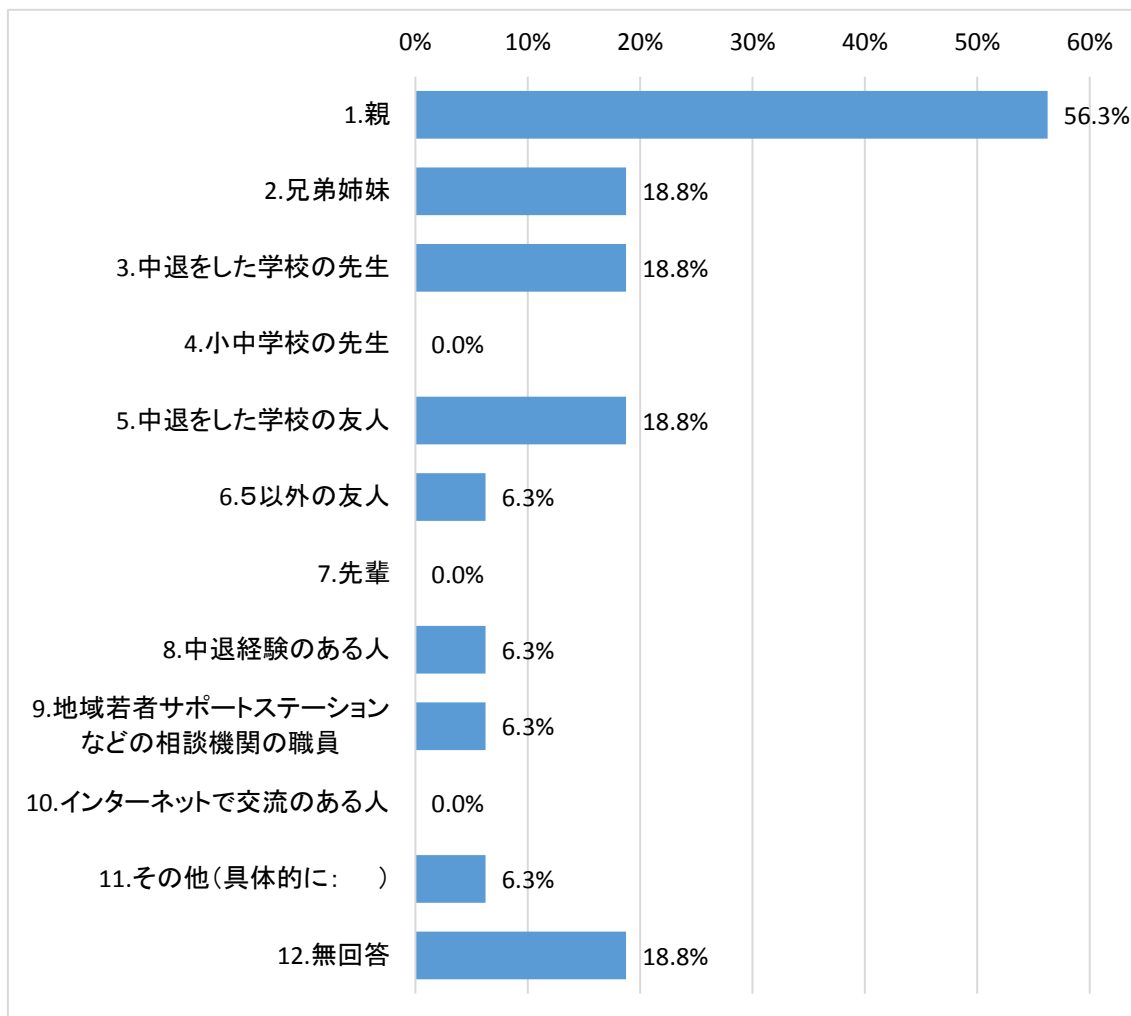
「15. その他」の内容

- ・ 高校に行く気がなかったし、行っても意味が無いと思った。

問5で「高校（全日制）中退」「高校（定時制）中退」を選んだ方に中退した理由を聞いたところ、「欠席や欠時がたまって進級できそうにもなかったから」が50.0%で最も多く、次いで「校則や校風があわなかったから」「人間関係がうまくいかなかったから」が25.0%、となっている。

問5-3 問5で「3」または「5」と回答した方にお聞きします。あなたが中退することについて誰かに相談しましたか（〇はいくつでも）

（集計総人数=16人）



「11. その他」の内容

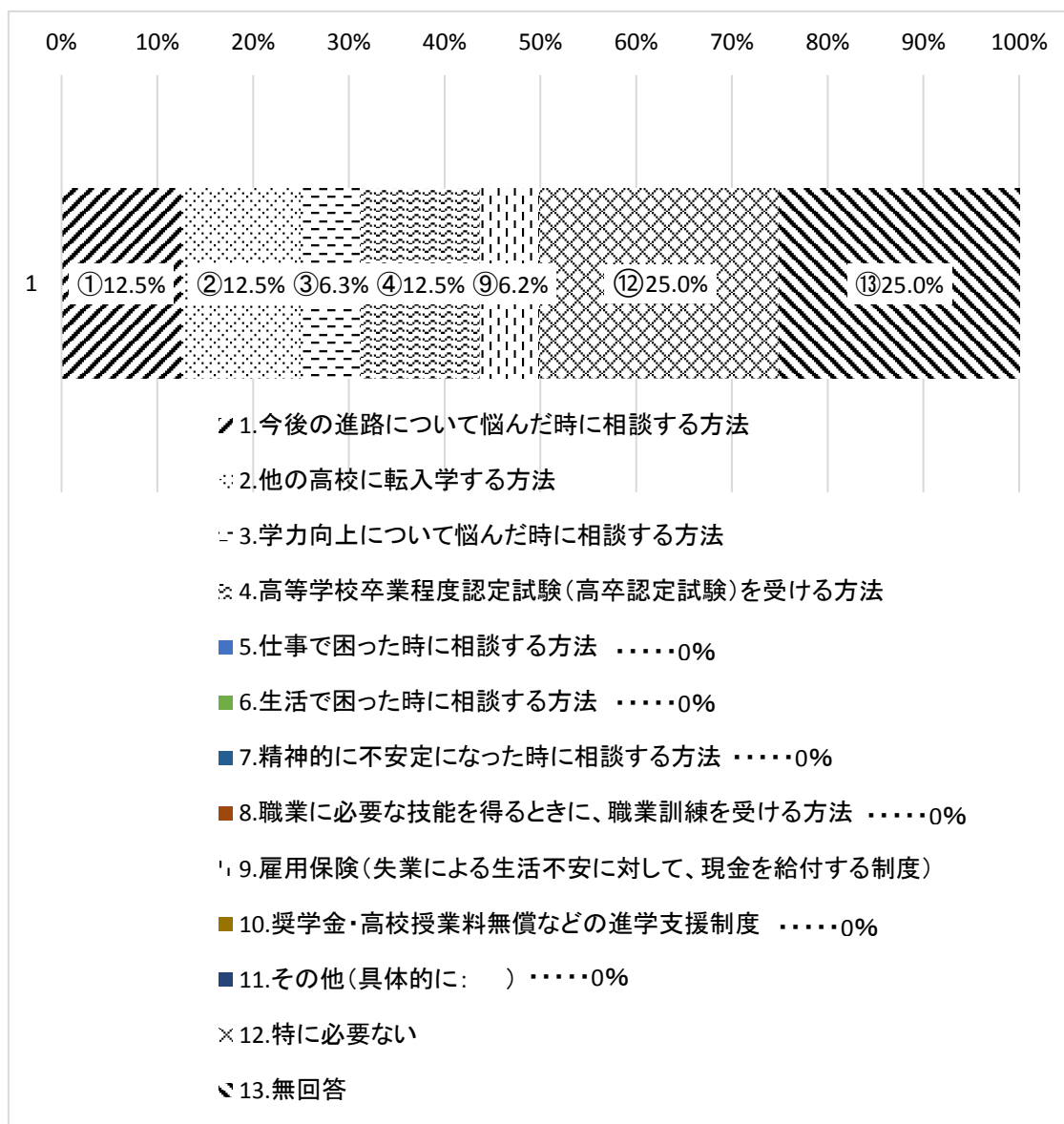
- ・いとこ

問5で「高校（全日制）中退」「高校（定時制）中退」を選んだ方に、中退することについて誰かに相談したか聞いたところ、「親」が56.3%と最も多く、次いで「兄弟姉妹」「中退をした学校の先生」「中退をした学校の友人」が18.8%となっている。

問5-4 問5で「3」または「5」と回答した方にお聞きします。あなたが中退するにあたって、また中退後に、今後の自分の進路を考えたり、日常生活を行っていくうえで、どのような情報を知っていたらよかったですか。

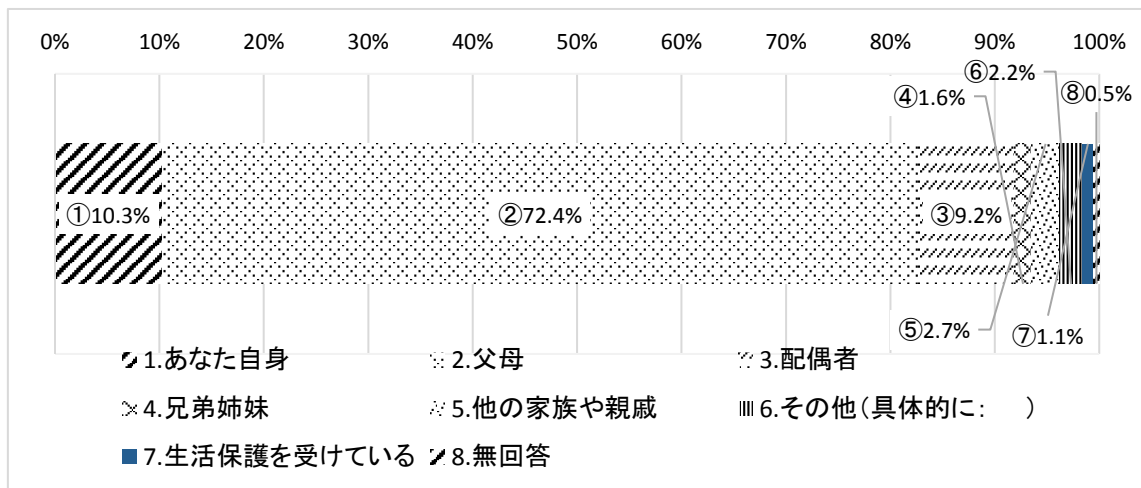
(○は一つだけ)

(集計総人数=16人)



問5で「高校(全日制)中退」「高校(定時制)中退」を選んだ方に、中退するにあたって、また中退後、今後の自分の進路を考えたり、日常生活を行っていくうえで、どのような情報を知っていたらよかったですか聞いたところ、「特に必要ない」が25.0%、「今後の進路について悩んだ時に相談する方法」「他の高校に転入学する方法」「高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)を受ける方法」が12.5%となっている。

問6 現在、あなたの生計を支えているのはどなたですか。生計を支えている方が複数いる場合は、もっとも多く負担している人をお答えください。(〇はひとつだけ)
(集計総人数=185人)



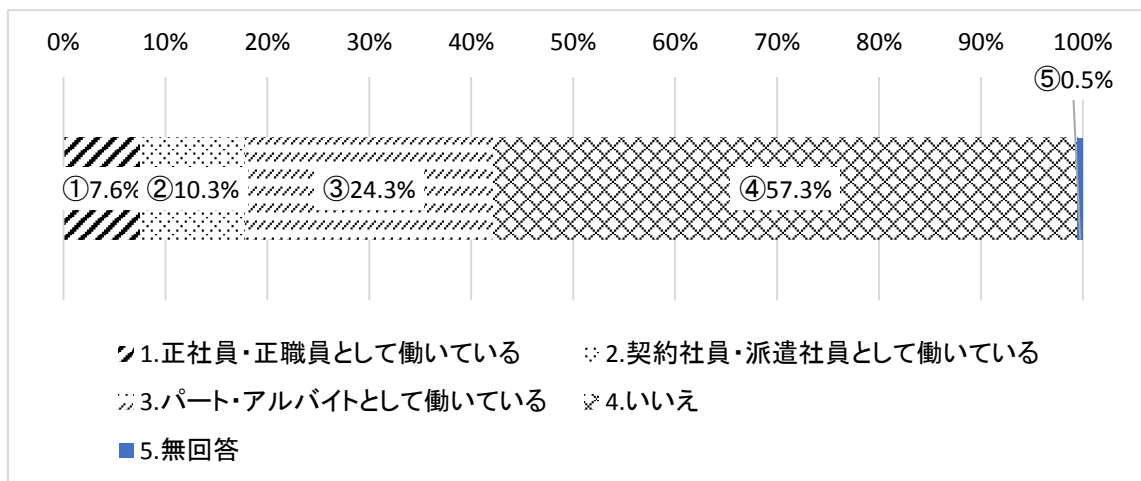
「6. その他」

- ・ 祖父母
- ・ 傷病手当
- ・ 隣人

あなたの内容あなたの生計を支えているのは誰か聞いたところ、「父母」が72.4%と最も多く、次いで「あなた自身」10.3%「配偶者」が9.2%となっている。

問7 あなたはいま、仕事に就いていますか。

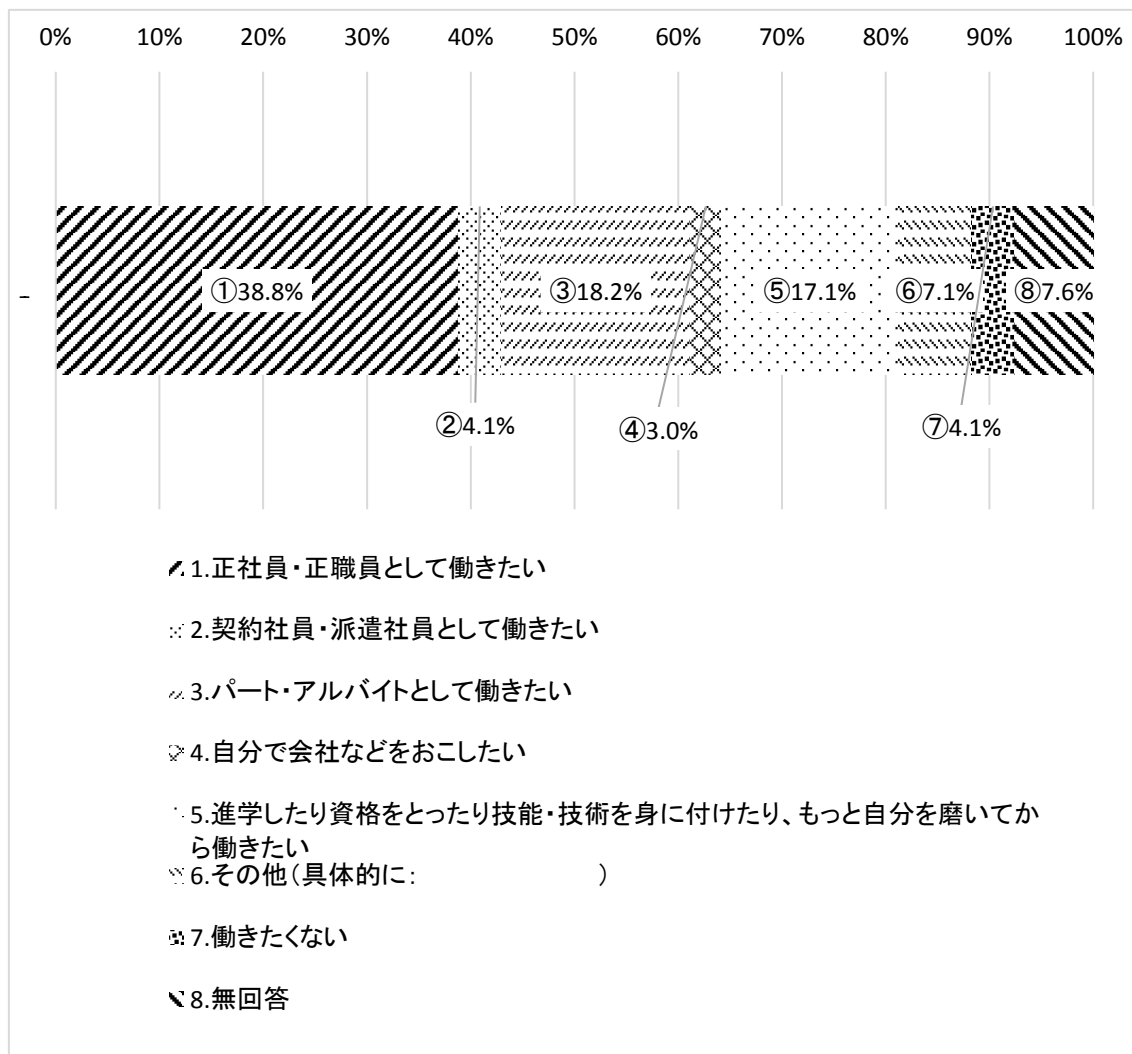
(集計総人数=185人)



いま、仕事に就いているか聞いたところ、「いいえ」が57.3%で半数以上を占めており、次いで「パート・アルバイトとして働いている」が24.3%、「契約社員・派遣社員として働いている」が10.3%となっている。

問8 問7で「2 契約社員・派遣社員として働いている」「3 パート・アルバイトとして働いている」または、「4 いいえ」と回答した方にお聞きします。あなたは今後の自分の進路についてどのように考えていますか。（〇はひとつだけ）

（集計総人数=170人）



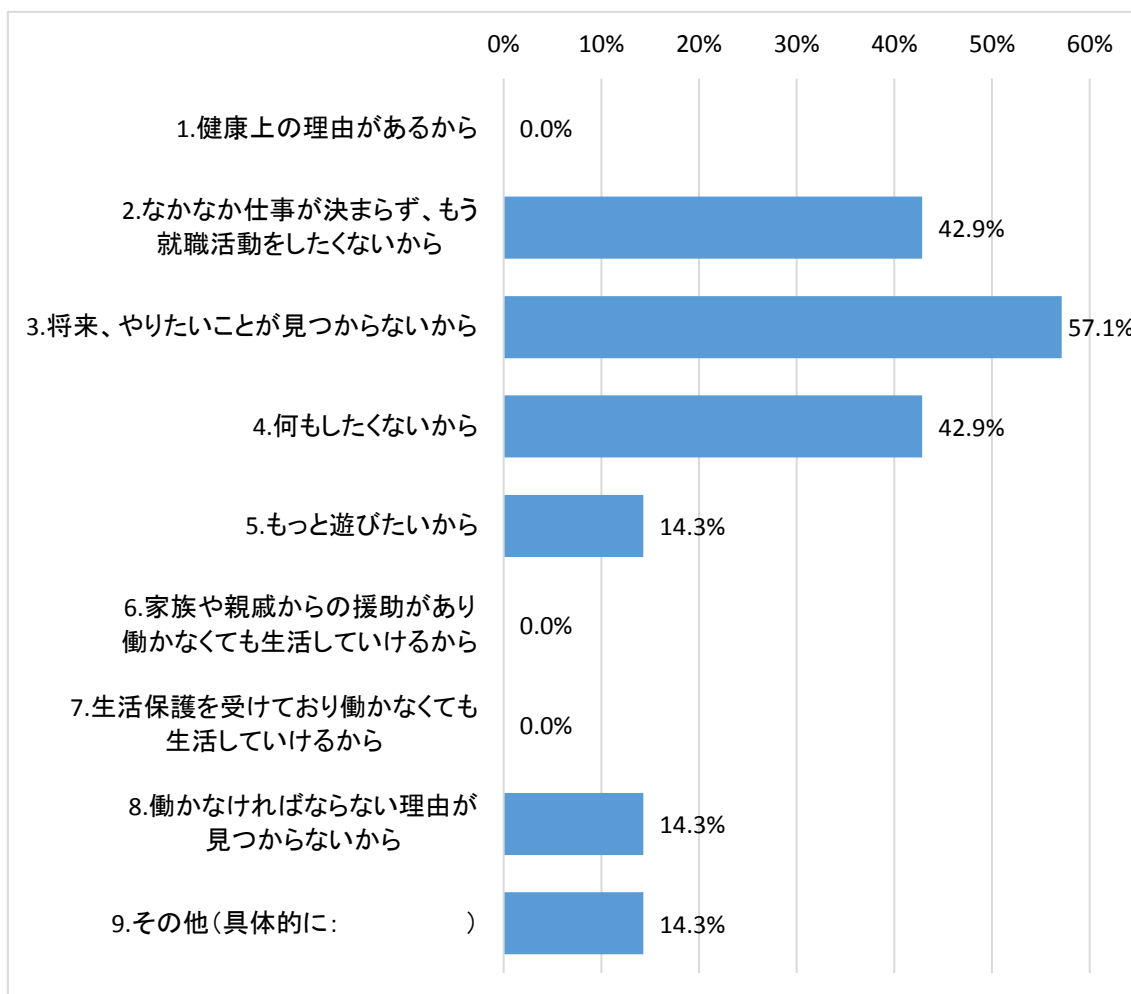
「6.その他」の内容

- ・ 来年度から就職予定（正社員）。就職先から内定をもらっている。
- ・ 最初は単時間のパートで慣れてから正社員として働きたい。
- ・ 出来そうな仕事をしたい。転職したい。人が多いところ、うるさいところ、人間関係がめんどくさいから家で働きたい。
- ・ 性格上のことを見つめ直してから考えたい
- ・ 何も考えられない。

現在、「正社員・正職員として働いている」以外の方に今後の進路を聞いたところ、「正社員・正職員として働きたい」が38.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイトとして働きたい」が18.2%、「進学したり資格をとったり技能・技術を身に付けたり、もっと自分を磨いてから働きたい」が17.1%、となっている。

**問9 問8で「7 働きたくない」と回答した方にお聞きします。
その理由を教えてください。（〇はいくつでも）**

（集計総人数=7人）



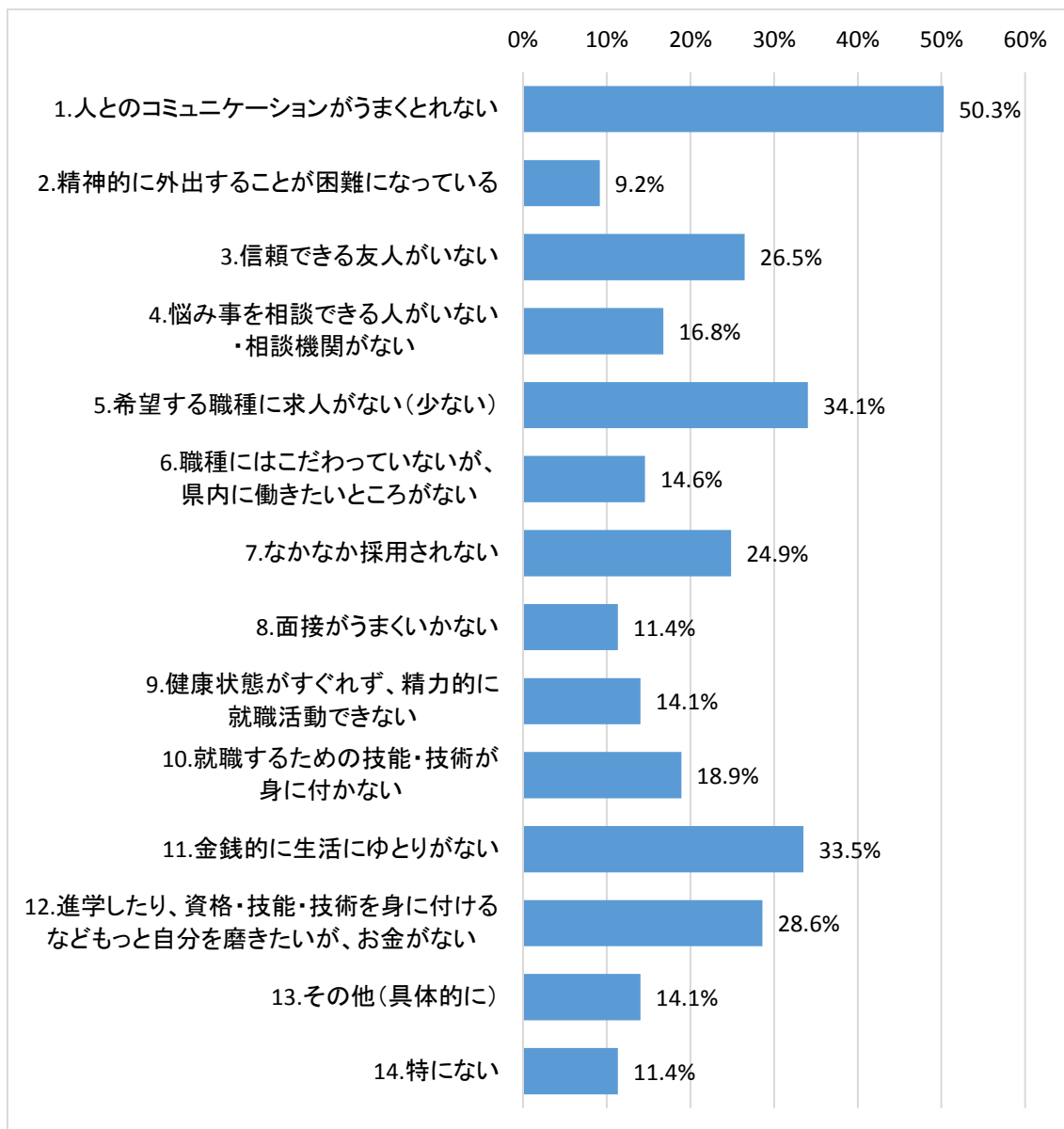
「9.その他」の内容

- ・「死にたい」と言う願いを叶えたい

「働きたくない」と回答した方にその理由を聞いたところ、「将来、やりたいことが見つからないから」が57.1%となっている。次いで「なかなか仕事が決まらず、もう就職活動をしたくないから」「何もしたくないから」が42.9%となっている。

問 10 いま、あなたが日常生活や就職活動に関して、悩んだり困っていることはありますか。また、それはどんなことですか。(〇はいくつでも)

(集計総人数=185人)



「13. その他」の内容

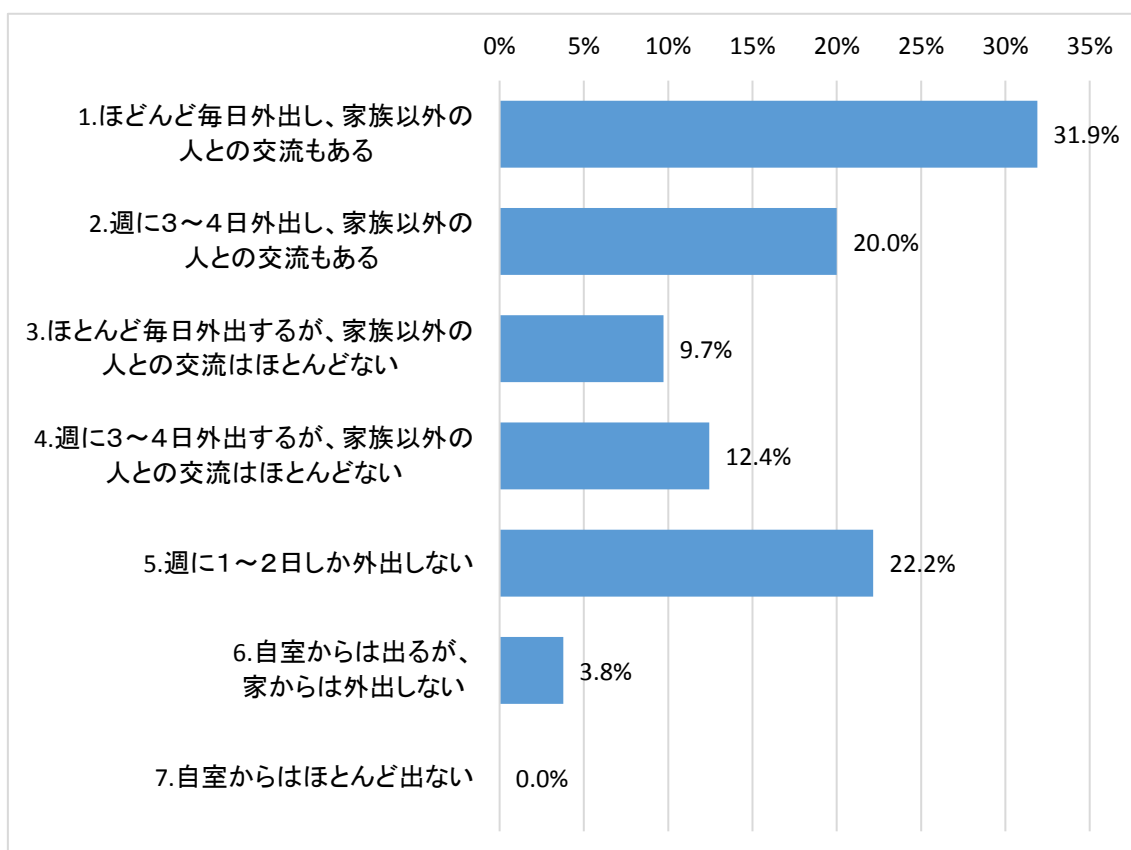
- ・人への不信感が強い、就職出来たとしても、職場での人間関係が上手くいかず、すぐに辞めそう、目上の立場の人に嫌われやすいみたい。
- ・転職したいけれど、自分に合っている所がどこなのか分からず転職にふみ出せない。
- ・前職場での出来事が精神的に不安定になる原因となっている。
- ・訓練校に通っていますが、仕事が決まるか心配。
- ・ひとり親で子供を育てていく予定でいろいろ求職していますが、子育て世代でも子供を受け入れてくれる職業や、上手く片親で子供を育てていけるか不安です。

- ・ 職を転々と短期で辞めてしまう。
- ・ 書類選考を通過できない。
- ・ 年金が高くて支払えない、交通費や時間帯を考えると中々仕事先が見つけれられない。
- ・ 病気によって基本的な生活に支障が出ている

日常生活や就職活動に関して悩んだり困っていることはあるか、また、それはどんなことか聞いたところ、「人とのコミュニケーションがうまくとれない」が 50.3%と最も多く、次いで「希望する職種に求人がない（少ない）」が 34.1%、「金銭的に生活にゆとりがない」が 33.5%、「進学したり、資格・技能・技術を身に付けるなどもっと自分を磨きたいが、お金がない」が 28.6%となっている。

問 1 1 あなたは普段、どのくらい外出しますか。また、家族以外の人との交流はありますか。（〇はひとつだけ）

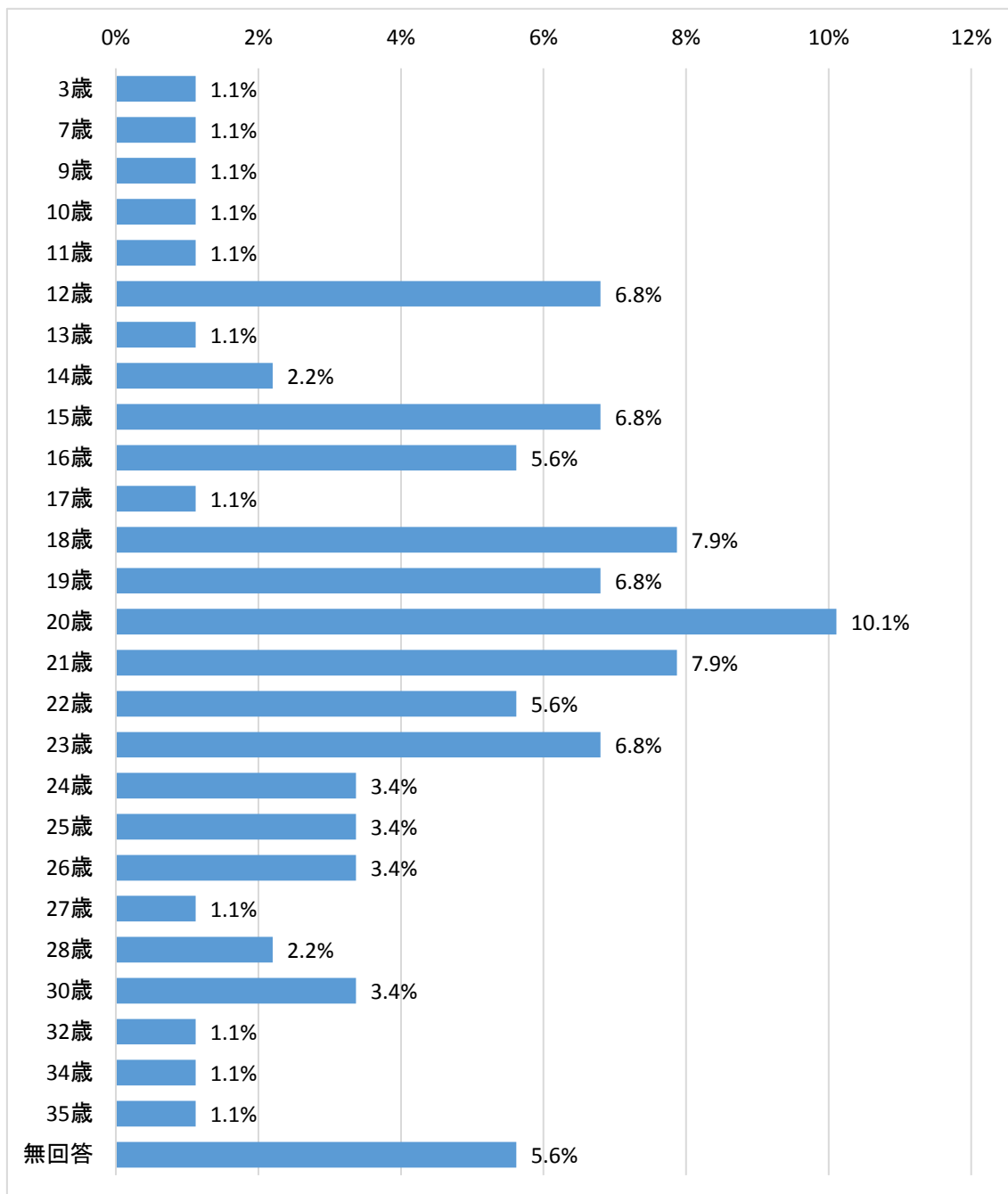
（集計総人数=185人）



普段どのくらい外出しているか、また家族以外の人との交流はあるか聞いたところ、「ほとんど毎日外出し、家族以外の人との交流もある」が 31.9%、「週に1～2日しか外出しない」が 22.2%、「週に3～4日外出し、家族以外の人との交流もある」が 20.0%となっている。

問12 問11で「3」「4」「5」「6」「7」と回答した方にお聞きします。
現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

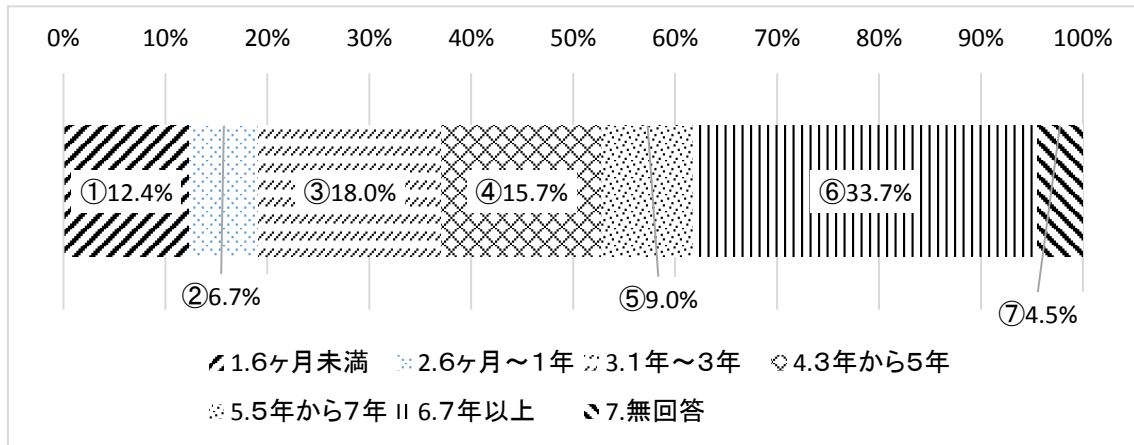
(集計総人数=89人)



問11で「1 ほとんど毎日外出し、家族以外の人との交流もある」「2 週に3～4日外出し、家族以外の人との交流もある」以外を答えた方に、現在の状態になったのは何歳の頃か聞いたところ、「20歳」が10.1%と最も多く、次いで「18歳」「21歳」が7.9%、「12歳」「15歳」「19歳」「23歳」が6.8%となっている。

問13 問11で「3」「4」「5」「6」「7」と回答した方にお聞きします。現在の状態となってどのくらい経ちますか。(〇はひとつだけ)

(集計総人数=89人)

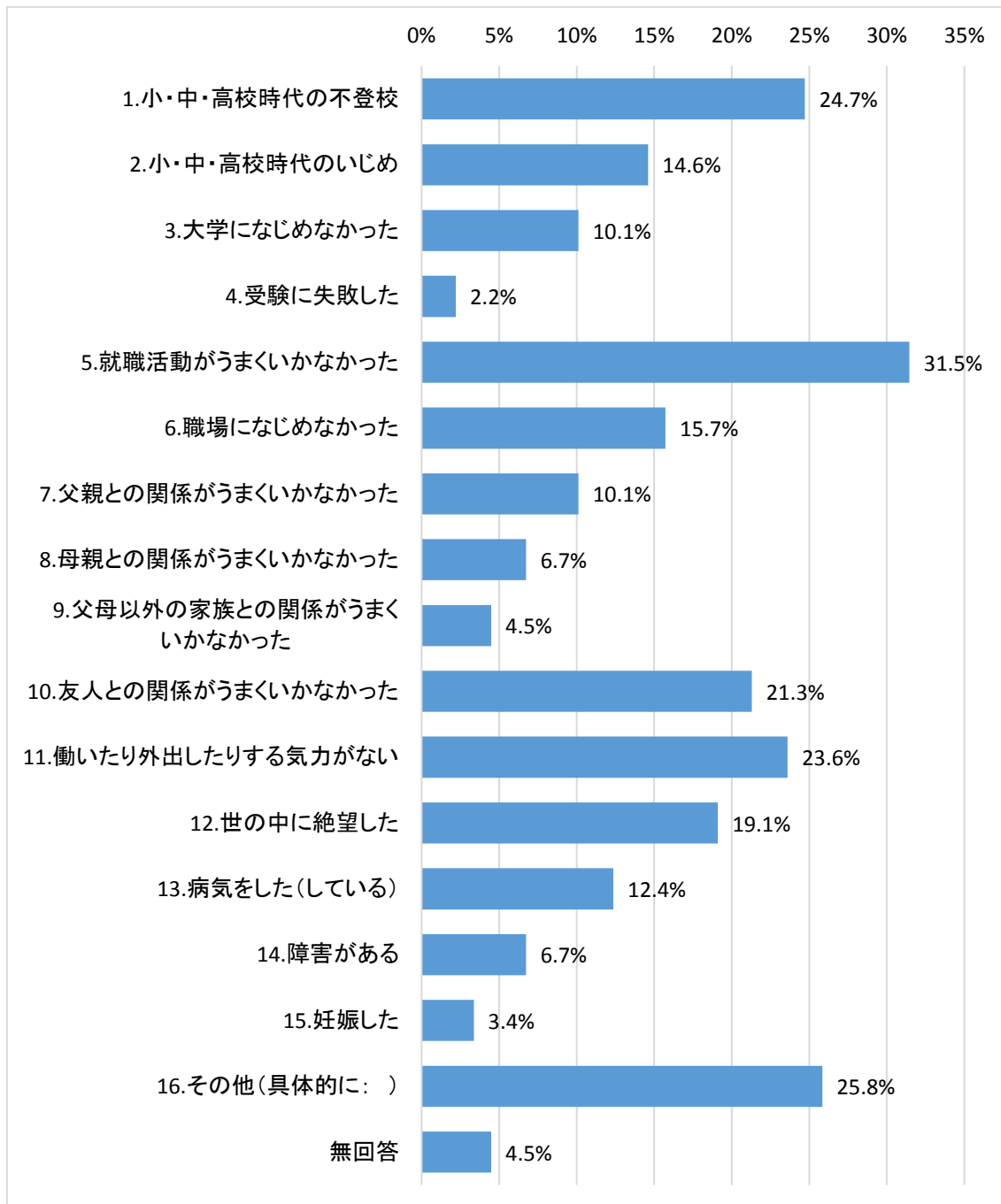


問11で「1 ほとんど毎日外出し、家族以外の人との交流もある」「2 週に3～4日外出し、家族以外の人との交流もある」以外を答えた方に、現在の状態となってどのくらい経つか聞いたところ、「7年以上」が33.7%と最も多く、次いで「1年～3年」が18.0%、「3年～5年」が15.7%となっている。

問14 問11で「3」「4」「5」「6」「7」と回答した方にお聞きします。

現在の状態になったきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

（集計総人数=89人）



「16. その他」の内容

- ・人の目が気になったり、深く人と関わるのが苦手。
- ・男性に近づくのが嫌になった。土地も人も嫌になった。

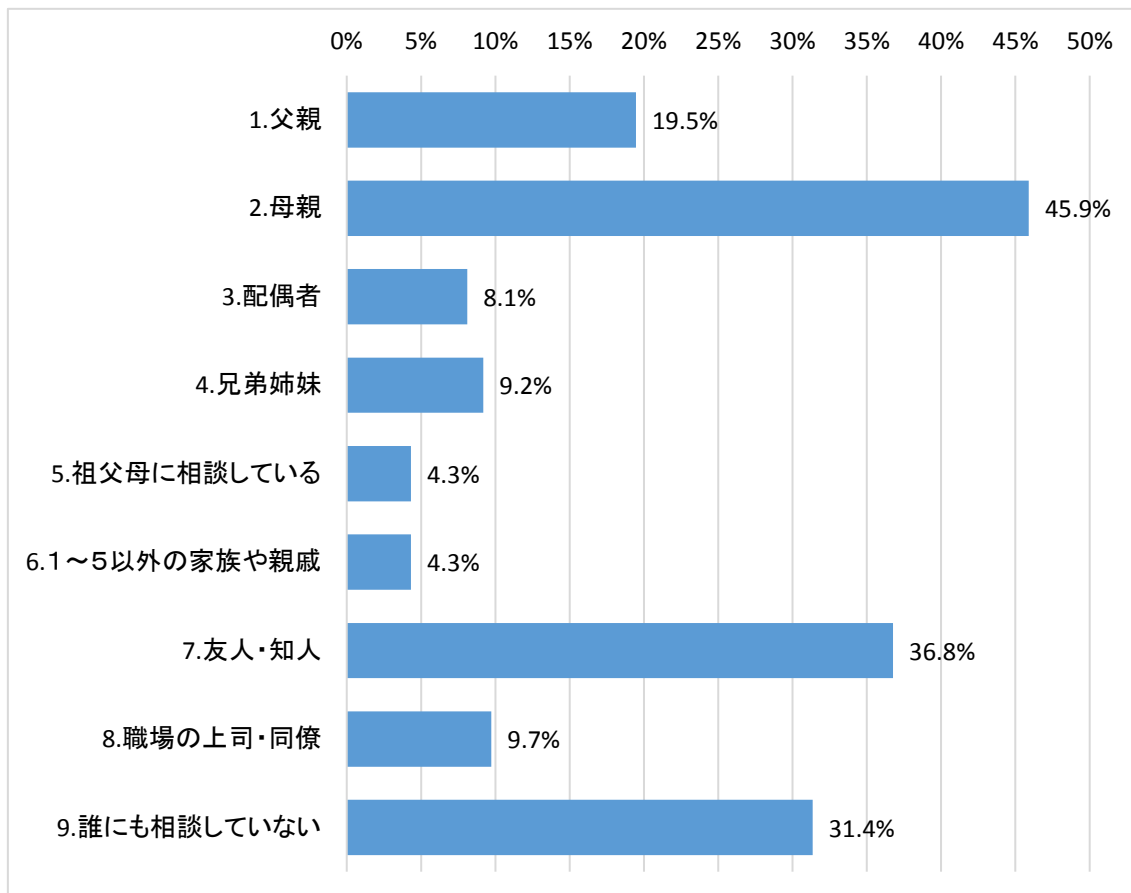
- ・自分の能力の無さに絶望した。知り合いに会いたくないので外出は出来ればしたくない。
- ・パワハラ。
- ・元々、他人とのコミュニケーション。
- ・大学の必須科目をクリアできなかった。
- ・仕事以外で外に出る用事がない。
- ・就職活動中。
- ・貧困、小学校の学校生活。
- ・離婚した。
- ・出勤、帰宅時それぞれで事故をおこしてしまったため精神的に落ち着かない。
- ・失職した。
- ・インドア派なため。

問11で「1 ほとんど毎日外出し、家族以外の人との交流もある」「2 週に3～4日外出し、家族以外の人との交流もある」以外を答えた方に、現在の状態になったきっかけを聞いたところ、「就職活動がうまくいかなかった」が31.5%と最も多く、次いで「その他」が25.8%、「小・中・高校時代の不登校」24.7%「働いたり外出する気力がない」が23.6%「友達との関係がうまくいかなかった」が21.3%となっている。

問 1 5 あなたは、日常生活や就職活動に関する悩みなどを、誰かに相談していますか。

(○はいくつでも)

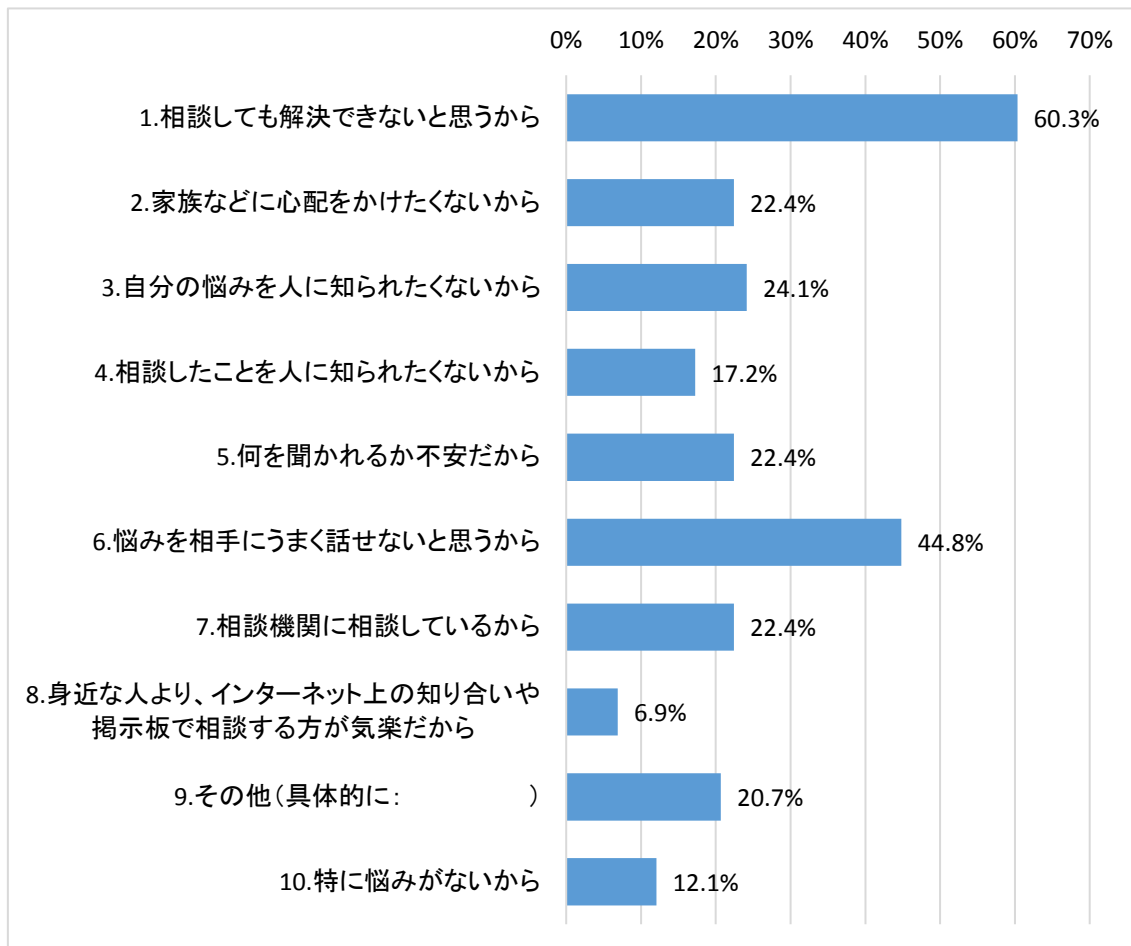
(集計総人数=185人)



日常生活や就職活動に関する悩みなどを、誰かに相談しているか聞いたところ、「母親」が45.9%、「友人・知人」が36.8%、「誰にも相談していない」が31.4%、「父親」が19.5%となっている。

問16 問15で「9 誰にも相談していない」と回答した方にお聞きします。
その理由はなぜですか。(〇はいくつでも)

(集計総人数=58人)



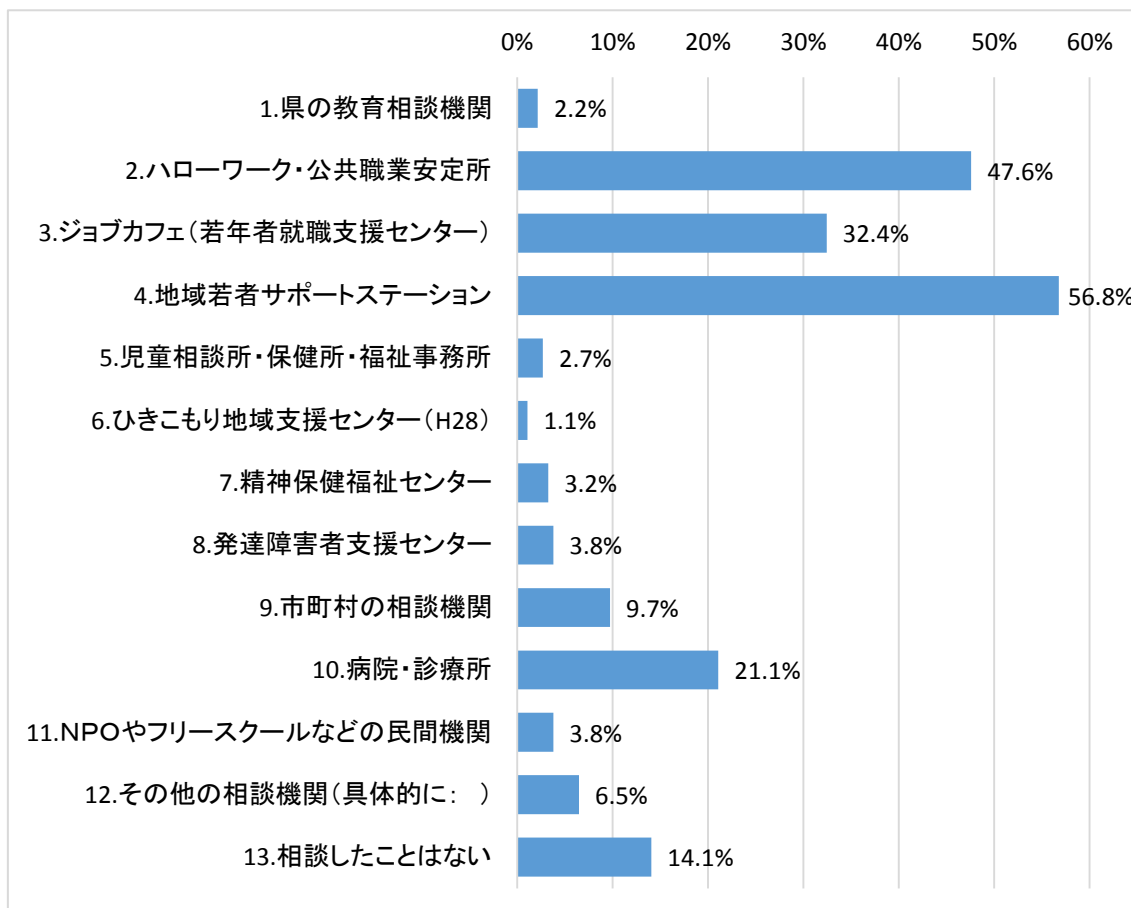
「9.その他」の内容

- ・よくわからないから。
- ・話したとしても、人生そんなものだよとあきらめたようなことしか言われたいから。
- ・話せる人がいない。
- ・人への不信感が強いから、悩み事を相談出来るような信頼できる人はいない。
- ・自分で解決したい。人に頼りたくない。

問15で「9 誰にも相談していない」と回答した方にその理由を聞いたところ、「相談しても解決できないから」が60.3%と最も多く、次いで「悩みを相手にうまく話せないと思うから」が44.8%、「自分の悩みを人に知られたくないから」24.1%、「家族などに心配かけたくないから」「何を聞かれるか不安だから」「相談機関に相談しているから」22.4%となっている。

問 1 7 あなたはこれまで、日常生活や就職活動に関する悩みなどを、どのような相談機関に相談したことがありますか。(〇はいくつでも)

(集計総人数=185人)



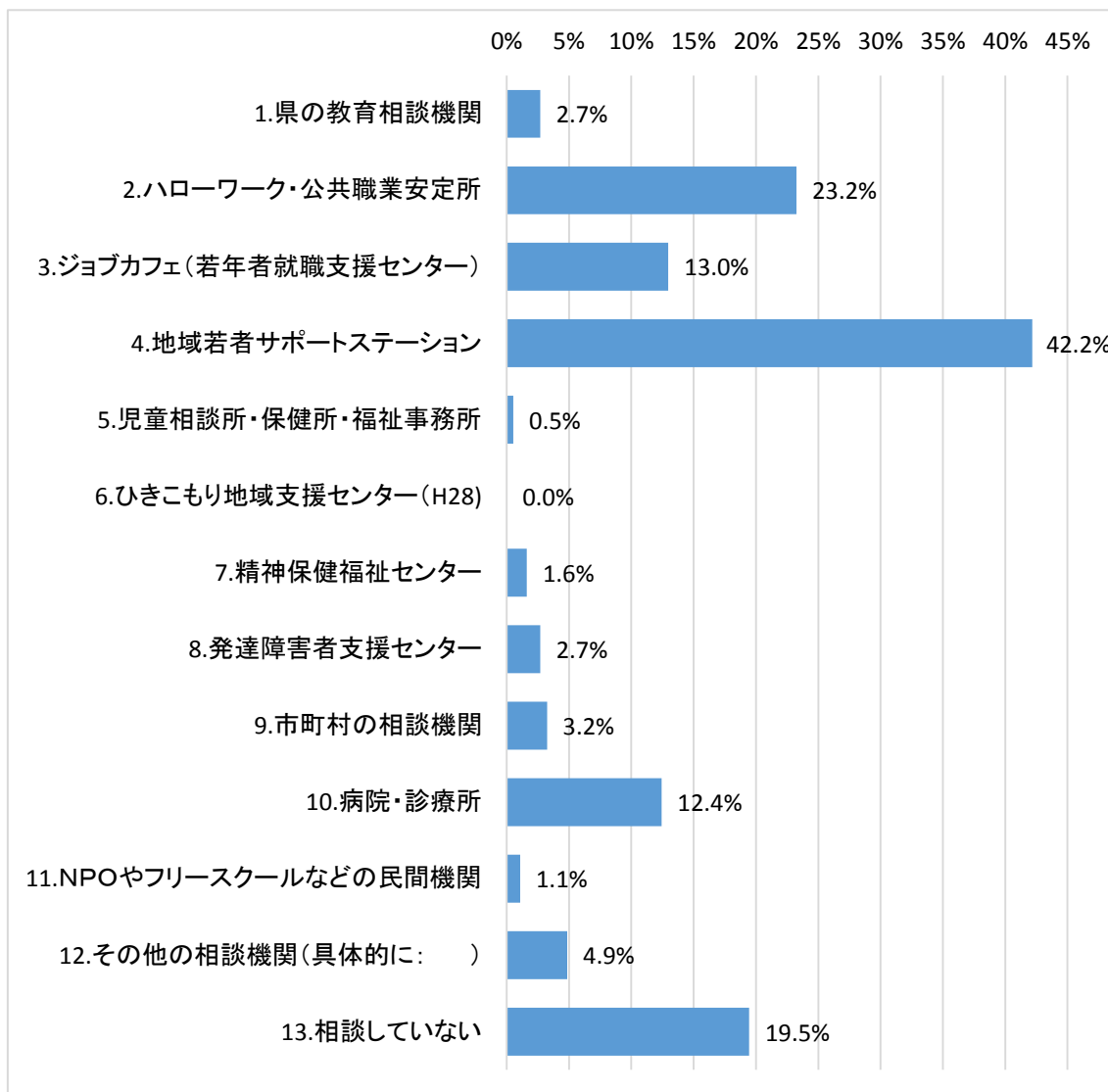
「12. その他の相談機関」の内容

- ・ あおば学園
- ・ 個人カウンセラー
- ・ 役場
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 職業訓練機関
- ・ B型就労支援施設
- ・ 就職支援事業を実施する企業

これまで、日常生活や就職活動に関する悩みなどを、どのような相談機関に相談したことがあるか聞いたところ、「若者サポートステーション」が56.8%で最も多く、次いで「ハローワーク・公共職業安定所」が47.6%、「ジョブカフェ(若年者就職支援センター)」が32.4%、「病院・診療所」が21.1%となっている。

問 18 あなたは現在、日常生活や就職活動に関する悩みなどを、相談機関に相談していますか。(〇はいくつでも)

(集計総人数=185人)



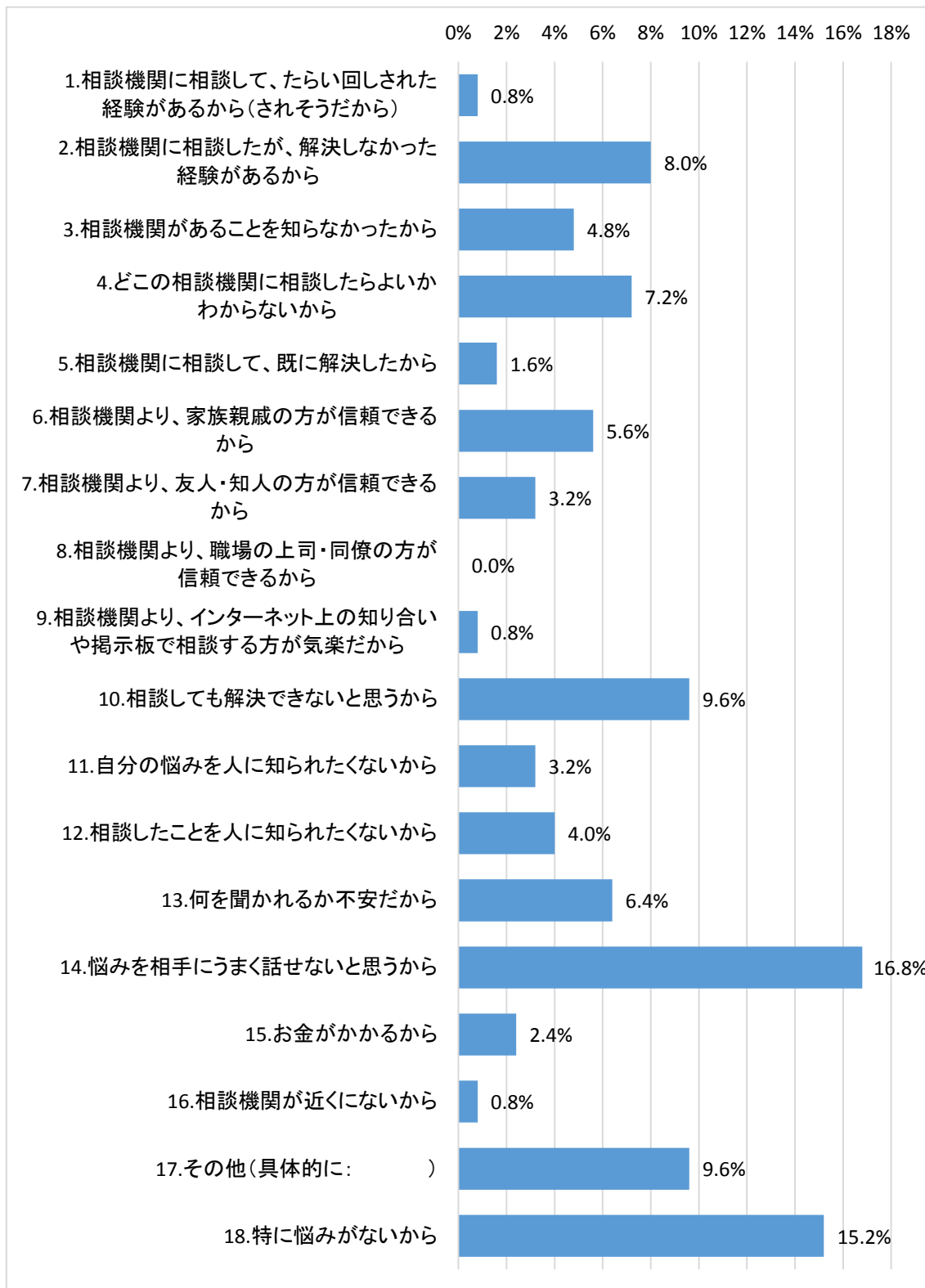
「12. その他の相談機関」の内容

- ・ 個人カウンセラー
- ・ 職業訓練機関
- ・ 就職支援事業を実施する企業
- ・ 役場
- ・ 就職関連
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 学校の先生

現在、日常生活や就職活動に関する悩みなどを、相談機関に相談しているか聞いたところ、「若者サポートステーション」が42.2%と最も多く、次いで「ハローワーク・公共職業安定所」が23.2%、「相談していない」が19.5%、「ジョブカフェ(若年者就職支援センター)」が13.0%となっている。

問19 問17で「13 相談したことはない」、または問18で「13 相談していない」と回答した方にお聞きします。その理由はなぜですか。(〇はいくつでも)

(集計総人数=125人)

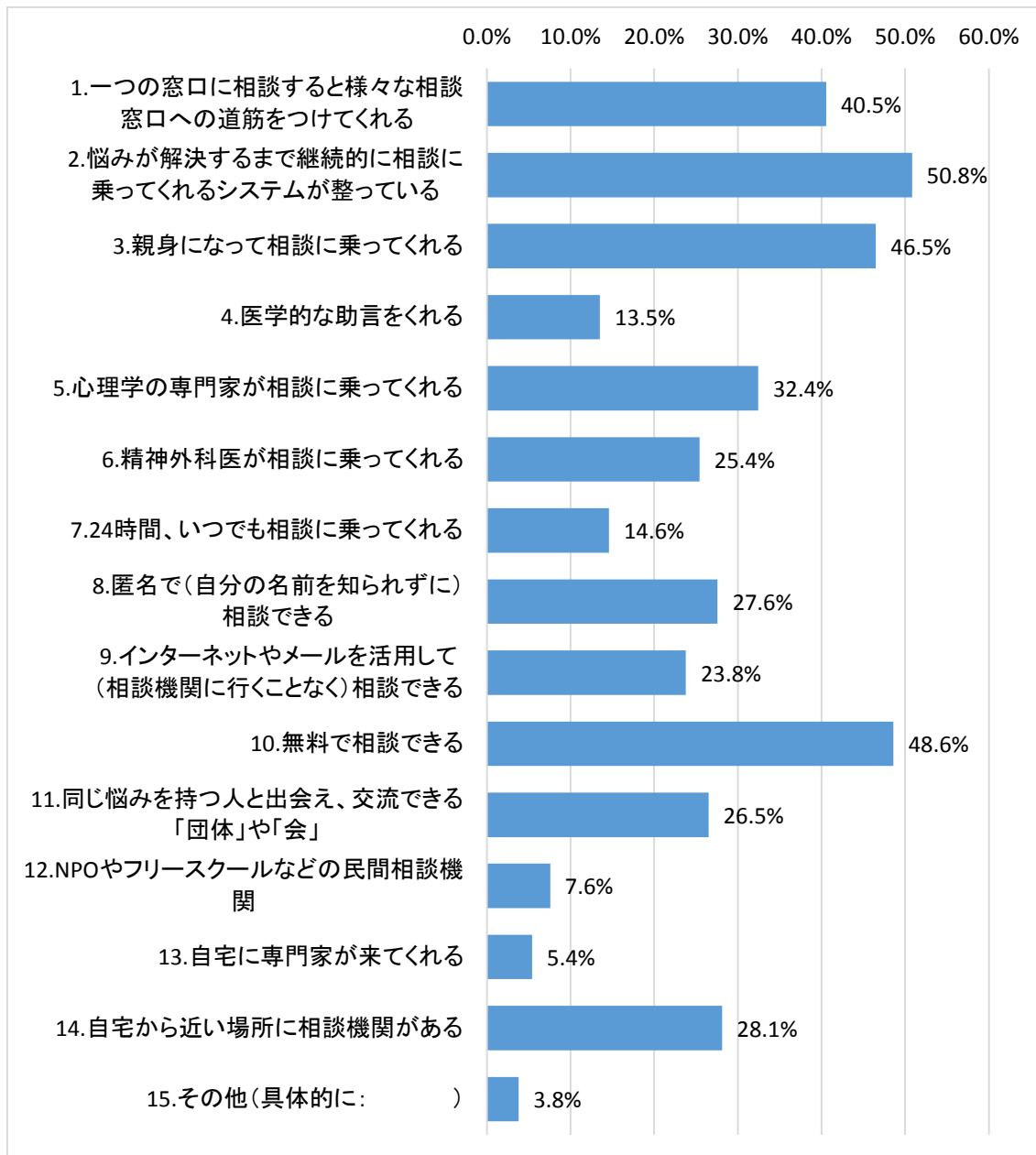


「17.その他」の内容

- ・自分でも「どうしたい」という具体的な答えが見つからないから。
- ・予定がなかなか空けられないからです。
- ・相談しに行きたくても、休みが少なく、シフトも15日刻みでしかでなくて、予約が出来ない。
- ・仕事が休みの日に相談機関もお休みだから。また、数か月に一回行ける日があっても家から出る気力がわからない。
- ・相談しに行くための手段がない。
- ・相談機関に行くことが減ったから。
- ・自分でインターネット等で情報収集して解決した。
- ・相談する意欲と、意思と、方法が自分の手元になかった。
- ・現在は、自分なりの方法で問題に取り組むことを重視しています。また相談をする可能性はあります。
- ・精神的科に通院しているが、医師を信頼出来ないから相談してもスッキリせず逆に後悔するから。
- ・就業中。
- ・相談しても就職できるわけではないから。

問17で「13 相談したことはない」、または問18で「13 相談していない」と回答した方にその理由を聞いたところ、「悩みを相手にうまく話せないと思うから」が16.8%で最も多く、次いで「特に悩みがないから」が15.2%、「相談しても解決できないと思うから」9.6%となっている。

問20 皆様が日常生活や就職活動に関する悩みなどを相談したり、支援を受けるにあたって、今後、どのような機能があったらよいと思いますか。(〇はいくつでも)
(集計総人数=185人)



「15. その他」の内容

- ・ 社会福祉協議会、アウトリーチ、家や居場所づくり。
- ・ 適正と性格に応じた仕事を斡旋してくれる。
- ・ 履歴書の書き方とか、面接のやり方を全部個別で教えてほしい。面接のときに一緒に来てほしい。(例えばハローワークの人が一緒に来たり)
- ・ 土日も利用できないと意味がないです。

日常生活や就職活動に関する悩みなどを相談したり、支援を受けるにあたって、今後、どのような機能があつたらよいか聞いたところ、「悩みが解決するまで継続的に相談に乗ってくれるシステムが整っている」が50.8%で最も多く、次いで「無料で相談できる」が48.6%、「親身になって相談に乗ってくれる」が46.5%「一つの窓口で相談すると様々な相談窓口への道筋をつけてくれる」が40.5%となっている。

問2 1 最後に、あなたが日常生活や就職活動に関して、感じていることや、若者を支援する相談機関などに対する意見や要望などについて、自由にお書きください。

■ 相談受付体制について

- ◇ なかなか思うように就活ができず、困っていたところ、就労支援センターの方や、サポステの方に相談にのってもらえ、現在の仕事が出来ていると感じます。大変有り難いと思っています。
- ◇ 自分がまず何をすべきなのか分からなくなったり、ただただ不安にだけなったり、悩みに悩みまくっていたりしました。家族と相談しようにも不安にさせてしまうのではないかと心配になり、出来なくなっていました。サポートステーションに行った事で今までかかえていた不安や悩みが少しずつですが、なくなってきました。自分の中では早くなんとかしないといけないと思ってしまっていました。スタッフの方にあせらずやっつけていきましょうと言われた時は、少し肩の荷がおりた感じがしました。サポートステーションに行ったら本当に良かったと思っています。
- ◇ 知人からの知らせでサポートステーションの存在を知りました。親身になって対応してくれてとても感謝しています。でも、もっと周囲に対してのアピール？があってもいいと思います。良い機関なので、悩んでいる人が気軽に利用出来るようにハローワークなどの窓口でも案内してくれたら良いと思います。
- ◇ 昨年地域若者サポートステーションが変更して職員の方なども新しくなったのですが、人見知りの私としては、環境が変わると、なかなか続けて相談する事が難しいので相談機関に行かなくなりました。契約などがあり長く同じ方々が勤務するのは難しいと思いますが、相談した事がある方と少しでも長く接したいという希望です。
- ◇ 地域若者サポートステーションのパンフレットの表紙に「本気を出していないだけ」などとマイナスなことは、書かないで欲しい。
- ◇ 相談したことを、例えば若者サポステのスタッフ同士でシェアしてほしい。スタッフみんなでも均等に話せるように。

- ◇ ハローワークで職場の嫌がらせについて相談を聞いてくれる窓口を作ってほしいです。
- ◇ アスパムにハローワークがあるが、弘前のように駅ビルやアウガにあってもいいかと思う。
- ◇ 本職に支障のない時間、日にちで働ける副職の紹介（副職専門で紹介する機関など）
- ◇ 近くに相談機関があったとしても、場所が分からない。わざわざ遠くにいっても、解決したとは思えず、結局つづけて行かなくなる。の繰り返しになり、結局何も解決しないまま、次の職場に行ってしまうたり、あきらめてしまう→いろんな人の目が気になってしまって、上手く相談できない。ハローワークで相談しにくい。
- ◇ 仕事先が決まらないまま時間が経つだけなので、ハローワークは相談を受けたりするだけではなく、もっと親身になって探してもらいたい。あまり頼りがいがない。収入が無いので年金が支払えず、今後の不安。
- ◇ 職業安定所などまでの交通費サービスを考えてもらいたい。毎回のお金がかかってしまう。公務員ばかり得してないか？
- ◇ 何年も職についてないと、仕事を探すのが面倒くさくなるし、資格も免許もないし、働いた経験がないってだけで、何で何度も何度も落とされなきゃいけないのが本当に嫌で、こっちは頑張ってるのに面接の人は全然わかってくれないし、何か話すと思ったら説教されるし、何でわかってくれないんだろうって何回も何回も思っていると仕事を探すのが嫌になって、結局何年も働いてない生活が続くんです。だからってハロワみたいなかにも職探してますみたいなところに行きたくない。あそこはふんいきが悪いし、もっとフレンドリーみたいなカフェみたいなおしゃれな空間にしてほしい。ハロワ＝職探しのイメージしかないから行くのも勇気いるし、憂鬱になるし、本当にあの空間が嫌いです。もっと職探ししている人の気持ちをわかってあげてください。働きたいのに、そっちが採用してくれないから、いつまでたっても仕事に就けません。簡単な雑用でいいから本当に誰か仕事をください。じゃないと社会に嫌気がさして自殺したくなるんです。この気持ちあなたにわかりますか？きっとわからないでしょうね。だからこうやってアンケートとるのも意味無いと思います。どうせ誰も見てないし、そのうちこの資料捨てるんでしょ？そっちがこれ読んで行動に移さないなら何の為にアンケート取るんですか？仕事に就けない人の気持ちも理解出来なくせに、アンケート取ってる暇あったら行動しろ。
- ◇ 面談、面接の予約などしなくてもフラッと立ち寄って利用者どうしが雑談できる空間のある相談所。
- ◇ ハローワークなどで求人票と異なる求人を出している所や離職者の多い会社をきちんと伝えて欲しい。ブラック企業の求人などは公表してほしい。私は以前勤めた会社で休憩時間もなくて一日中お客さんから苦情対応におわれ体調を崩しました。人間も信用出来なくなりました。悪質な会社の求人は出さないでほしいし、確認して情報提供して下さい。

- ◇ この県にはまともな求人がほとんどない。周りの年配者は「どの会社もブラックだ」「先がない」と口にしてている。もっと優良な企業や求人がないと、何も変わらないと思う。ハローワークの受付の態度が悪いので、直してください。
- ◇ 支援機関を利用させていただいていますが、辛いという気持ちを吐き出せた事で少し楽になりました。ただ実は自分が何を相談したいのか分からない事が多いです。考える事があっても「こんな事を相談していいのだろうか」と思ってしまうので、なかなか相談できません。雑談をするには楽しかったです。
- ◇ 就職活動に関する悩みは、友人など近い関係の人にこそ言えない悩みだと思います。バカにされたり、怠けている、甘えていると思われれます。家族も同じです。狭い地域に住んでいればなおさらです。相談機関がある事自体、知らない人も多いと思います。また、相談機関に相談する事を恥ずかしい事だと思っている人もいるかも知れません。気軽に相談して良いんだ、と言う空気を作る事も必要なのかな、と思います。
- ◇ 相談機関では相談の相手以外に話を聞かれないのですが、行っていた相談機関で他の職員の方や他の予約をしていた人に聞こえてしまうつくりになっていたせいで私の相談内容が聞こえてしまい、同じような嫌な事が3度同じ職員からされた為、現在の相談機関の利用をしていません。
- ◇ 相談する機関を増やして欲しい。
- ◇ いろいろな機関がありすぎて、どこの機関に相談して良いかわからない。
- ◇ 仕事はあっても非正規や給与が低いなど不安定なことが多い。一度つまずくとなかなかルールに戻れない。若者支援、専門家もいるが良くわからない民間団体もある気がする。相談機関は敷居が高い人、知らない人もいるのではないか。今は未来を安心できて暮らせるだけの収入がほしいです。
- ◇ 現在、就職し働いておりますが、職場での人間関係や会社の業績面で不安を感じております。もちろん今の職場で出来ることは精一杯やるつもりですが、もし現在の職を失ったら次に受け入れてくれる会社があるのか、また生活していけるだけの収入を得られるか心配でなりません。時々不安が大きくなった時は、以前就職の事で相談した相談機関で相談しており、悩みを聞いてくれるところがある事を、心強く思っております。私は、溜め込んでしまう性格ですので、身近な人に相談しづらい事を話せる場所があるのは助かります。
- ◇ 相談機関について。この前見学会に行けず（企業）、それ以来連絡がなくて少し寂しい思いをしています。当日熱を出してしまった自分も少し情けないのですが、どうして良いか分からず困っています。毎日不安で仕方ないですが、”なんとかなる”で乗り切っております。

■ 必要な支援・サポートについて

- ◇ 県内にもう少し、障害がある人に対する支援機関があれば良いと思います。また雇用してくれる場、理解のある環境が整ってほしいです。
- ◇ 自分は発達障害があるが、就労のA型などで働くほど重くない。しかし一般でやってくれるほどでもない。できれば親元を離れて立ち立たいが、障害者雇用ではなかなか一人暮らしてできる程稼げる求人がない。
- ◇ やはり障害者は稼げないのだろうか。前の職場のように「何も仕事ができない」と怒られながら一般で働くしかないのだろうか。
- ◇ 私は小一から不登校で勉強したくてもできるところがなかった。学校に相談してもまったくとりあってもらえず、どこにも（病院）行くことができないというか紹介すらされなかった。ただ家の中で過ごす事しか出来ず学生生活は、ほぼしてない。もっと早くに相談にのってくれるところがあったら障害だって早くにわかったはずだし、やりたかった勉強もできたはずだと思うと悔しくてたまらない。小さい田舎町にも、もっと相談できるところを増やしてほしい。20年以上前のことだから仕方ないかもしれないけれど、せめて学校側は、相談できる「場所」をちゃんと紹介するべきだったのではないのでしょうか。その後遺症みたいな感じで、今だに学生がうらやましい（もっと勉強したかった、楽しい学生生活をおくってみたかった）。小学一年生で心がとまったままだから25歳過ぎてるのに大人になりきれない。
- ◇ 強迫性障害を克服できる機関などが弘前にできればいいなあと思っています。
- ◇ 障害者認定を受けたが、精神や知的障がいと違って視覚障がい者への支援や理解（級が低い者への理解）がまだ不完全だと思う。
- ◇ 成人して、この世の中が、後期高齢化社会とストレス社会と子供がいる主婦の皆さんが、働ける社会になってほしいし、同じ悩みを持つ方々も一緒に仕事出来るようにしてほしい。同じ悩みを持つ人と出会える「団体」や「会」などいっぱい増してほしい。
- ◇ これからもっともっとどこにでも相談に乗ってくれるところを増やして下さい。それをずっと継続してほしい。仕事に慣れるまでものすごい時間がかかるからそれを職場にもわかってもらえるよう間に入ってほしい。
- ◇ 自分で説明することが苦手なため良い支援の幅がこれから増えていくようになる事を願っています。
- ◇ 今後ますます息苦しい社会になるがそのたびにこまめなサポートを希望します。これからも御協力をお願いします。
- ◇ どんな仕事にも職業体験があった方がいいと思っています。
- ◇ 就職活動はしていますが、いざ面接を受けるとなかなかうまくいかないのでも、仕事をしたくても、そこまできません。誰かの紹介があつての仕事とかあればいいのですが、自分で探してする仕事がありません。何かいい方法がありましたら、お力いただきたいと思っています。よろしく願いいたします。
- ◇ 就職したいが親身になって教えてくれるところを必要としている。
- ◇ 自分に合った相談機関、相談場所があること自体最近まで知らず、とても悩んでいたし、就職活動がうまくいっていなかった。きちんと相談できる場所、人を見つけられたおかげで短期でも継続して仕事が出来ているし、自分に合った仕事を紹介してもらえてい

る。ハローワークの通常の相談窓口ではただただ焦りしかなく、面接もうまくいってなかった。もっともっと、その人に合った場所等をわかるようにしてほしい。青森、弘前まで行かないと相談窓口がないのも不満。

- ◇ 助けを求めている声なき声をもっと探してもっと見つけようとして欲しい、それを切に願います。そして、もっと連携を密にして欲しいとも思います。行政でも、民間でもNPOでも、どこでもいいと思うので。それに民間の力を信じていいと思うので。
- ◇ 何年間も、外の社会とは、関わることなく生活をしていました。地域若者サポートステーションを利用しはじめてから、数年かかって、やっと、人と少しずつ話ができるようになりました。社会に適応していくまでには、まだまだ時間がかかると思います。これから先、社会に出て、色んな悩みが増えた時、身近に相談出来る場所があると心強いです。
- ◇ もっと無料で利用できる若者や障害者や金銭的に困っている人達が利用出来る機関を増やして欲しい。もっと無料で学べる場所が欲しい。
- ◇ 弘前のサポステに通っていて、普段、人と会話をしないので、相談員と会話をして楽しんでいる。
- ◇ 働けない人達への支援もさることながら、働き始められた人達へのサポート、相談機関の充実。
- ◇ 10年以上就職活動をしているが仕事がまだ決まらないので長期間就労経験のない人やブランクがある人の為に軽作業や個人の特性にあった仕事などをさせて少しずつ社会性やコミュニケーションを身につけられるような所があれば良いと思う。また、自室や自宅から出られない人達の為に地元企業と連携しインターネットを通じて仕事を在宅で出来るようにする登録サイトがあれば良いと思う。
- ◇ 面接練習などを無料でしてもらってとても助かりました。これからも機会があればお世話になろうと思います。
- ◇ 親身になって聞いていただけること。家族以外の第三者の意見も貴重なものなので、このような機関はなくならないでほしいです。
- ◇ さまざまな職種、専門職以外も相談できるといい。女性の為にメイク講座をいろいろなメーカーでやってほしい。
- ◇ 就職するための相談だけではなく、働いている人が悩みを気軽に相談できる場があればいいなと思います。また同世代の人や同じ悩みを持つ人達と気軽に交流できる機会がほしいです。
- ◇ 相談機関への要望については、求職者がステップアップ出来る機会を増やして欲しいと思います。私は、過去に職業訓練校の選考に漏れてしまい、落ち込んで就職活動を諦めたりしましたが、常に門戸が開かれている方が、就職や社会復帰がしやすくなるのではと思います。また、講義形式ではなく実践的な講座を多くした方がよいと思います。例えば、電話の対応やビジネスマナー等。ブランクが長い人には始めから面接に行くのはハードルが高いので。
- ◇ 経験や知識が少ないので、いろんな体験が出来たり、いろんなことを学べたりするところを増やして行ってほしいです。また職場体験は、1日2日だけでなく、もっと多くなり、もっといろんな体験先が増えて行って欲しいです。同じ悩みを持つ人との交流の場所や、自分に合う物が見つかる場などがもっと増えて欲しいです。

- ◇ 日常生活は、人との交流が家族、親せき以外の人とはまったく機会がないので、これからは、人とたくさん交流したいと思う。あと同じ地域で友人があまりいないので、気の合う友人も何人かほしいと思う。同じ趣味の知り合いが何人かほしいけれど青森にそういう集まりなどがないのでそういう人とコミュニケーションをとる機会が少ないのが悲しい。

■ その他

- ◇ お金が無くてなかなか就職したい仕事に本格的に取り組めません。どうしていいのかわかりません。
- ◇ 仕事はしているものの、非正規での雇用のため、生活が安定せず、将来に希望が持てません。夢として「起業したい」との目標をたてたものの、県内には、資金を貯められないな、と半ばあきらめています。もう少し改善できれば、と思います。(条件などの面で)
- ◇ 自分の家ではお金がないので車の免許及び所持ができないので働くところがない。
- ◇ 思う様に行かない時も有りますが、自分自身が納得した所に行き仕事ができる事は自立への一歩だと思えます。不平不満を言うにしても、中々言えず、ストレスを抱えて生きて、辛い時期も有りました。何事にも、良い方に考えるようにしとけば自然とチャンスが来るかもしれません。チャンスを確実にするためにも、日頃からの準備が必要です。
- ◇ 私が大学を卒業して八戸に戻ってきた時には就職そのものが厳しいというのもありましたが、情報が少なかったように思えました。いろいろ経験するうちに、若いうちにこういうのがあったらよかったのと思う事も多いです。ようやくアルバイトを始めても上手くいかずに考えこんでしまって調子を崩した事もあります。今現在、私ではないですが、同じような状況に落ちいる若い方も見てきました。まともに頑張ろうとする人を支えて良い方向へ促すものが必要だと感じ、出来る範囲で助言したり自分の経験を交えてお話ししたりしています。まともな人を失望させないように、困った時に支えとなる何かが必要なのだと、常日頃考えて私自身も早期就職に向けてがんばりたいとおもいます。
- ◇ 10年ほど東京で主婦をしていた(たまに働いて)こっちに帰って来て、色々と気付くことがある。良いことも多いのだが悪いことに関していえばいい年こいた大人(主に70~80代の老人のこと)のモラルが低く、平気でその辺にゴミを捨てたり教養がなさすぎる。そういう人たちが強いのがなんでだろうと。そして行政の下で働く人の意識の低さも目に余る。市民や客の立場が弱い。「面倒」・「お金がない」この2つで片付ける人が多すぎ。若者がいくら頑張っても足引っ張りが多くていやになる。
- ◇ 働く気はあるけど、音とかうるさいのにびんかんなのと人多いところが苦手なのと人間

関係の悪口とかが苦手。家でできる仕事あるならそれがいい。女同士のいざこざとか悪口とかそういうのも苦手。聞くだけでいやな気持ちになって落ち込む。

- ✧ 大卒は正社員じゃないといけないという空気があるように感じる。息苦しい。
- ✧ 自分に自信が持てない中でとにかく早期の就職を求められプレッシャーとなっている。
- ✧ 就職が決まらず卒業し、一度就職したけれど十二時間勤務無給、月給5万円等で働かされた事があるので安易に仕事を選べない。それでも親は「何でもいいから仕事しろ」と言う。自分はもう仕事選びに失敗したくない。年配の男性から性的暴行を受けた事を母に頼らず警察に行けば良かったと後悔した。年配の男性と話をするのが嫌なのに母は薬局で働けと言う。薬局のレジにいる女性に、年配の男性が長々と話しかけているのを見てから自分は絶対にやりたくないと思っている。しかし母は何でもいいとしか言わない。性的暴行の被害にあったのも、お前が悪いと言われた事があるので、母には私の悩みは理解されないのだと思う。母とは仲が良いし、母しか頼れる人はいないが就職や人間関係に関して母は信用できない。友人は前に東京に住んでいた頃の友人しかいないので近くに相談できる友人もいない。人や人が触ったものにも触れないので、接客業に対して前向きになれない。せめて住みたい町で少しでも興味のある仕事での接客業ならまだしも県内でそんな仕事もない。この県が大嫌い。
- ✧ 企業も若い人が欲しいだろうから新卒にチャンスが多いのは仕方がないかもしれないがもう少し上の年代にももっとチャンスがあってもよいのではないかと思います。
- ✧ いくつかアルバイトを経験したが、全て対人関係、特に仕事を教えてくれる先輩、上司と上手くいかず長く続くことがなかった。どこへ行ってもこのようなことが起こるのかと思うと就活なんて出来ない。採用されたとしても精神的に病んでいくだけと考えてしまう。バイト面接で担当者に見下され馬鹿にされた事もあり、人への不信感が増えていくばかり。自分にも非はあったのだと思うが、新人を育成するシステムというよりも職場の環境、一緒に働く人に恵まれなかったように思えてならない。最近では集団の中で働いていくことが出来ないのだと感じている。自分に合うひとばかりがいる訳ではない。それは分かっている。ただあまりにも自分の敵が多すぎて身動きが取れずにいる。
- ✧ 仕事について、自分の希望が親に反対されています。どうしたら自分の希望を諦められるのか、ずっと考えています。そのせいか仕事探しに積極的になれません。働いていない今の状況がとても辛いです。
- ✧ 自分は親とあまりいい関係ではなく、仕事の話などはしたくありません。なのでこのようなアンケートを保護者の分も渡されても書いてほしいとお願いするのもとても苦痛でした。考慮していただけると幸いです。
- ✧ 両親の年齢に伴う体調の悪化が心配。
- ✧ 転職希望で、ハローワークにも通い、いろいろと探してはいるのですが、学歴でひっかかってしまいます。やはり、正社員、正職員として働くには高卒の資格がなければ厳しいのでしょうか…しかたがないこととは思いますが、やっぱり落ち込みます。それでも諦め

ずに頑張ります。

- ◇ 面接時に学歴について言われたり、性別は関係が無いような仕事なのに性別について言われたりされるので、就職活動をしなければならないのは分かっていますが、やりたくないなと思ってしまいます。
- ◇ 面接に行き落とされたが、未だ求人がある。自分が適しているとまではいかないがずっと求人を出すくらいであれば一度採用してみればよいのではないかと思っている。わがままだろうか…。
- ◇ 転職回数が多いと、不利なのは重々承知ですが、そこだけではなく面接での感じも採用の判断基準としてほしいです。
- ◇ パソコン必須なのは分かるが、出来ないからと言って落とすのではなく少しでも身につくように採用してから支援する方法もあるのではないか。
- ◇ 就職活動は自分の趣味に合った仕事がしたいと思う。自分がやりがいのある仕事に就きたい。
- ◇ 就職活動において、自分に劣っている部分、足りない部分を具体的に知りたい。
- ◇ ハローワークやジョブカフェなど、就職活動について相談する(できる)場所はあるが、そもそも県内に仕事がなく、求人がないので困っている。また、求人があったとしても、月給 12 万～14 万(正社員で)のものが多く、一人暮らしもできないため、県外で就職活動することも考えなければいけない状態で大変。
- ◇ 働く場所が少なすぎる。主に、介護の仕事が多すぎ。
- ◇ 自分の考えや思い、感じた事など、「個性」を否定しないで欲しい。100%その通りになることは非常に困難なことであり、「統一感」が必要な場面もある。100%通りにするのも、苦痛だと感じる人もいる。だから両方の考えがバランスよく保つ社会になってくれたらと常に考えています。
- ◇ 感じていること(日常生活について)。人付き合いが苦手なのは、自分自身が人と違うからだと思います。人の本能が(生まれつき持っているもの)自分には備わっていないからだと思ったり、常日頃思っています。感じていること(就職活動)。特にありません。今年に入って引っ越してから環境がガラッと変わり、戸惑い、不安がたくさんありました。(今もあります。)
- ◇ 世の中には、土、日、祝休みの人には優しく、それ以外の人には優しくないと感じる時があります。連休になる様になる「〇〇の日」。ニュースでよく見るプレミアムフライデーな人がいい例で、そういう事になると、サービス業や接客業の人はますます大変になるしストレスたまる一方です。観光客を相手にする仕事についていますが、大半の人が「客なんだから」と横柄な感じの人ばかりで、そういう人はこないで欲しい。店員も人間なんだからって解ってほしい。
- ◇ 結婚し子供を産み最中お金がかかる時期なのに世間は「ママ」が働きやすい場を作らないのはなぜですか？学校に通っている5～6時間の「ママ専用枠」みたいなものを企業

に作ってほしい。ある程度規模の大きい会社、病院などなら出来そうですが……。待機児童（保育園ママ）ばかりに目を向けるのではなく、小、中学校に通っている家庭にも目を向けてほしい。フルで働きたくても小1の子供には負担が大きい。旦那の協力なし、親の協力なし、ママ一人で「子育て、学校の事、家事仕事あり」で生活して行くのは限界がある。技術もない、資格もない子持ちには企業にとって「おにもつ」なのではないか。世の中の「ママ」がつぶれてしまいます。

- ◇ 私自身、今現在主人と離婚前提に生活をしていて、精神的に上手く気持ちの整理ができず、心を平常に保つのが苦しく子供達の存在で、何とか就職活動や資格取得の為の学習や仕事、家事と頑張っているのですが、もっともっと求職活動をしながら、さまざまな家庭環境や悩みを抱えながら生活をしている方もたくさんいると思います。相談員の方から何か一言でもいいので、こまめに連絡をとってくれるなど、悩みが解決するまで一緒に寄り添ってくれると私自身もとても気持ちが救われると思っています。
- ◇ 様々な職種の方からお話を伺える機会を設けて欲しい。子育て中の女性の就職支援セミナー等はあるありがたいが、内容をもう少し練ってほしい。子育て中の女性を講師として迎えられても、裕福な恵まれた環境の中で働いてきた方の話を聞いても参考にならないので止めて欲しい。保育園の一時預かりも断られる事が多く、1h¥500など高いので困っている。
- ◇ 正社員やパートに育児休暇を取得させている求人が少なく、長く働けそうにないと応募する気力がなくなる。
- ◇ 10年以上、ひきこもり状態で、この先について考えられない。相談したい気持ちはありますが、何から相談したらいいのかわかりません。
- ◇ 今の仕事に就く前、3～4年ほど引きこもり、半引きこもりの時期がありました。そのせいか体力がなく、仕事が休みの日はほとんど家で寝て過ごしています。以前は外出して人に会ったり、見られたりするのが嫌だし、趣味はゲームやパソコンだったので家から出たくなかったのですが、最近は対人恐怖は大分やわらぎ、外に出ていろいろなことをしてみたいと思います。ですが体力、気力不足により何もできない日々です。つまらない。悩みを全て書くにはこの余白が少なすぎるため省略しますが、やっぱり死にたいと思います。ただ思うだけで結局何もできやしないのですが。いつまでもこの生活が続くかと思うと、気分が良くないです。それどころか維持するために最大限の努力をしなければいけないというのが実に悲しい。
- ◇ 生まれなおしたい。
- ◇ 違う人生を生きたかった。
- ◇ “働きたい”ではなく、“働かなければならない”と感じてしまっています。正直に働きたくないと思っています。その為、いざ希望に叶う求人が見つかってもし面接まで持っていく事にためらいがあり、未だ踏み出せずにいます。相談機関にお世話になっており、少しずつ改善され前を向いていこうという気持ちが高くなってきている所です。頑張

りたいと思います。

- ◇ どの職場にいても、人間関係が上手くいかなくなり、会社に居づらくなります。そして仕事が長く続きません。
- ◇ なかなか就職できずにいるので、不安に感じています。早く仕事がしたいです。
- ◇ 生活保護へのハードルの引き下げ(お金を稼いではいけないとかアルバイトしていると保護は受けられない) 車を持っていると駄目とか(地方は車がないと働けない)等、改善される事で、アルバイト等の収入と生活保護で暮らしていける人もいます。又、生活保護を受けようとする人への窓口の対応が冷たい事もあり、本当に必要としている人が相談に訪れにくい事は問題だと思えます。
- ◇ 私は現在、企業にアルバイト（7時間勤務）で雇ってもらっております。しかし、2月中頃に期間が終わります。また就職活動をしなければなりません。何時も感じることは、青森県の雇用は若年者には優しくないということです。Uターンの若者を求めているわりには条件が短大卒、大卒の求人が多く、高卒の私のような者には応募資格すらありません。「それなら県外へ行けばよいのでは？」と思われるかもしれませんが、私自身出身ですし、県外へ出る資金すらありません。県内の企業は賃金が安いだけならまだしも、非正規雇用ばかりです。何故、仕事を覚えて懸命に働いているのに正規に雇ってもらえないのか？人を使い捨てるようにし、人を育てようとしないのか？「仕事をシェアし、沢山のの人にやってもらう」という制度のデメリットを考えた事があるか？私は、この青森県は住みやすく出来れば出たくありません。しかし、このままこの土地にいても、私のような者には「未来」が無いように思い、不安になる時があります。「働き手が欲しい」と訴えるなら、もう少し若年者のことを考えた条件、魅力的な事業、企業を展開する必要があるのではないかと考えております。
- ◇ 一人ではなく誰かといっしょにいたい。
- ◇ パートやアルバイトであっても定時で終わる会社が少ない。
- ◇ 正社員に戻ろうと思うのだが、また周りに迷惑をかけるのではないかと、コミュニケーションがまたとれるか不安。
- ◇ 人の前に出るのが怖い。
- ◇ 笑顔を出すことに抵抗がある。
- ◇ 働く意欲が湧かない。